

もっといい明日が見えてくる - Letters from Gnoble

Gnoble

グノレット

G-let

保存版

vol. 27

2022年6月発行

東大合格
特集号

医学部合格者
インタビュー併載



グノブルを活かし、最大の効果を上げるヒント満載。
16期生の合格者インタビュー特集。

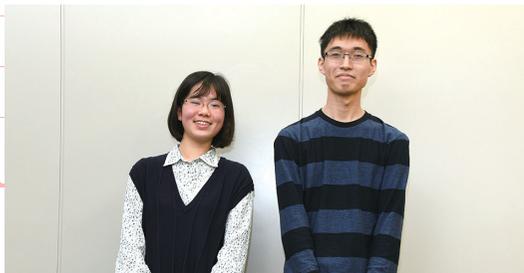
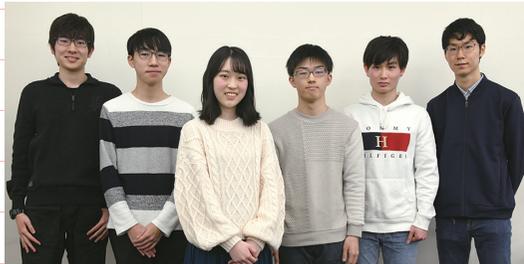
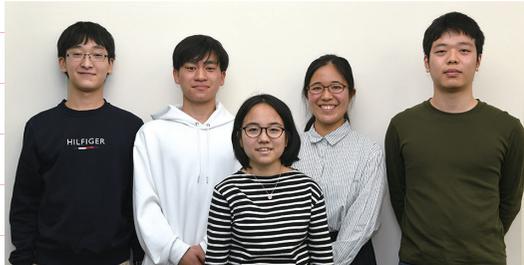
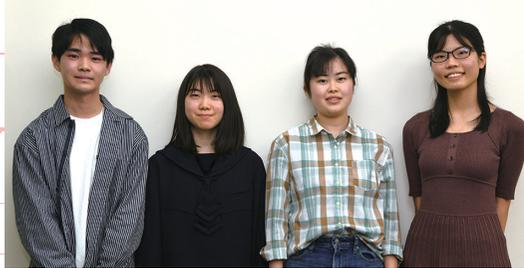
CONTENTS

16期生 合格者インタビュー

東京大学 文系 P1-14

東京大学 理系 P15-32

国・私立大学 医学部 P33-43



16期生 合格者インタビュー

東京大学

文系

【座談会出席者】(五十音順、本文中敬称略)

Part 1



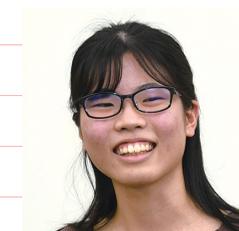
なかむら まみさん
(文I・筑波大学附属)



ふちがみ ゆいさん
(文I・白百合学園)

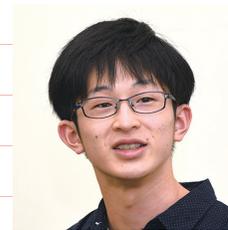


まえだ なおきさん
(文I・駒場東邦)



W.S.さん
(文I・女子学院)

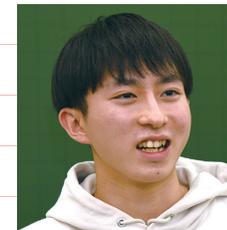
Part 2



いわま ゆうさん
(文I・駒場東邦)



たかはし せいなさん
(文III [学校推薦型選抜]
・光塩女子学院)



ふじい そういちろうさん
(文III・麻布)

2022年東京大学・医学部合格者インタビューをお届けします。

膨大な情報量になっていますが、グノブルを活かして最大の効果を上げるためのヒントがぎっしり詰まっていると思います。これから大学受験をされる皆さんには、マーカー類を片手に、気になる発言や参考になりそうな箇所を印をつけながら全編に目を通すことをお勧めします。

勉強を進めていく時に大切なことは、先輩の体験や先生の助言を参考にしながら、徐々に自分に合った勉強法を確立していくことです。このグノレットの中に、お手本にできることがあれば、ぜひ、お試しください。

また、勉強に行き詰まったり、気持ちが折れそうになったり、迷いが生じることもあるでしょう。そんな時には、改めてこのグノレットを開いて先輩たちの声に耳を傾けてみてください。きっと勇気ももらえます。

2022年6月 グノレット編集部

東京大学
文系
Part 1

中村 真実さん (文I・筑波大学附属)
 瀬上 友結さん (文I・白百合学園)
 前田 直毅さん (文I・駒場東邦)
 W.S.さん (文I・女子学院)

英語は正しい練習の積み重ねです。単語帳だけをコツコツ覚えても、ひたすら問題集をやっても効果的ではないと思います。単語は英語のイメージのまま身につけて、文法も英語の発想を軸に理解して、自分でたくさん読み、聞いて、書いて、話さないと英語の実力は伸びません。グノの英語を通してこのことを強く実感しました。

W.S.さん (文I・女子学院)

グノーブル入塾のきっかけ

W.S.: 高2の1月に英語で入って、その後数学、直前に国語を受けました。きっかけはすでに通っていた友人の勧めでした。

高1からグノに入っていた友人は英語が得意になっていて、その友人を見て「これはすごい。自分も頑張ってみよう」という気持ちになったのも大きかったです。

数学は別の予備校に通い始めましたが、そちらは大人数の授業で、先生はマイクで解説、生徒は黙って聞くというスタイルで、自分には合っていない感がありました。

数学も、グノは先生と生徒の距離が近いという友人の話を聞いてグノに移りました。

前田: 僕は中学3年生の冬に、「そろそろ英語の勉強に本腰を入れよう」と思って塾を探し始めました。その時に友達が誘ってくれたので、冬期講習を受けてみました。

すぐに、「グノーブルはすごい」と感動して、そのまま受験までずっと

グノです。

瀬上: 私は小学5年生の時に中学受験グノーブルの白金高輪校に入りました。中学受験する予定はありませんでしたが、「外部生に負けたくない」と思ったのが入塾のきっかけです。

入塾当初は数人のクラスで、みんな兄弟姉妹みたいに仲が良く、とてもリラックスして勉強していました。

グノの雰囲気自体が好きだったので、中1になる時にスタートダッシュ講座*1を受けて、そのまま大学受験グノーブルに通い始めました。中学受験との違いはもちろんありましたが、「やっぱりグノは楽しい」と

思い続けてきましたし、大学受験が近くなると生徒の人数は多くなりましたが、それでも先生との距離の近さは変わりませんでした。

中村: 私は皆さんと違って高校受験をしましたが、高校受験の勉強をしていた頃から、グノが英語で有名なのを知っていました。知り合いに英語ができる東大生がいて、「グノが



中村 真実さん (文I・筑波大学附属)

良いよ」と言っていたのも覚えていました。

それで、高1になる前のフレッシュャーズ講座*2を受けて、そこから通うようになりました。先生が一方的に講義をするのではなく、高校受験の塾みたいに先生と生徒のやりとりがあるのに驚きました。

実は他塾を試した時期もありまし

た。3か月だけ他塾にも通っていましたが、宿題が多いのと、単語帳を暗記する勉強が嫌でした。一方、グノは面白い英文をどんどん読めるのが楽しくて、嫌になることは全くありませんでした。

グノーブルに通う時の気持ち

中村: 学校の同じクラスの子が塾でも同じクラスで、「今日はサミングアップ*の点数、ちゃんと取れるかな?」とか、「今日の英文の内容は何か?」とか、よくグノのことを話題にしていました。英語を学べるだけじゃなくて長文の内容も楽しめるので、いつもワクワクしていました。

瀬上: 高2までは授業後も残って、先生や友達とよく喋っていて、それが楽しかったです。もちろん授業も楽しみでした。だから、塾に通う時は「コミュニケーションを取りたい」という気持ちが強まって、「今日は何を話そうかな?」と考えていました。

高3からは受験モードになったので、「今日は何を身につけられるのかな?」とか「英語力がどのくらい伸びるのかな?」とかが楽しみになりました。知識が身につくことや、実力がついていくのがうれしくて、グノの日は燃えていました。

前田: 学校も渋谷に近かったのでグノの渋谷校に通っていました。友達と一緒に通っていたので、行き帰りではよくグノのことを友達同士で話していました。グノの授業中もお互いにライバル視していて、それがいい刺激になっていたと思います。

やはり、サミングアップのことはよく話題にしていました。

W.S.: 私もサミングアップの点数は気になりました。真剣に向き合える課題でしたし、英語力を測るのに良い指標になるとも思っていました。

それから、グノの英語の授業は長時間ぶっ続けなので、コーヒーを買って気合を入れて授業に臨みました。でも、時間の過ぎ方が学校と塾とで全然違いました。グノの授業はいつもあっという間でした。

前田: 確かにグノの授業を受けている時間は一瞬でした。楽しいと時間がすぐに過ぎてしまうんです。

英文の内容は身近な話題も多く、心の底から感心してしまう内容のものもよくありました。

演習の時にも楽しみながら読めて、英文自体に興味が出てきたので、解説の時間もいつも真剣になれました。授業中はずっと集中力が途切れることがありませんでした。

瀬上: 授業の初めに演習があって、それから先生の解説をすぐに聞ける仕組みだったし、興味深い題材が毎回用意されていたので、グノの授業が長いと感じることはありませんでした。

学校でのグノーブルの話

中村: 「英語が伸びなくて」と悩んでいる人にグノのチラシを渡したら、その人もグノに入ってくれました。しかも、いつの間にかその人がクラス分けテストで私より点数が良くなってびっくりしました。

学校の同じクラスでグノに通っている子が多くて、よくLINEで話したり、サミングアップの点数の比べっこもしていました。

瀬上: グノの話はよくしました。「宿題終わった?」などもありましたが、何より先生の話が一番多かったです。先生が学園祭にいらっしゃるといって聞いて、当日は先生を探していたのもいい思い出です。

W.S.: 私の学校にはグノに通う人がたくさんいたので、毎日グノの話で盛り上がりました。



瀬上 友結さん (文I・白百合学園)

先生のダジャレまでみんなで共有して静まり返ったり、クラス分けテスト後はみんなで集まって「やばい、やばい」と言い合ったりもしていました。

サミングアップのこともよく話題にしていました。サミングアップのひどかった点数を友達に言ったら、友達が予想外の高得点なのにショックを受けて、ガーンとなったこともあります。

前田: 友達同士で知っている先生のモノマネをしていました。

でも、やはりサミングアップのことが一番よく話題になりました。それだけ一生懸命になれる教材でした。自分たちで点数をつけ合ったり、お互いにダメ出しし合ったりするのも楽しかったです。

英語力の伸び

W.S.: 私は中学に入ってからずっと英語に課題を抱えていました。

入学直後は、帰国子女や英語をすでに習っている人がいっぱいだったので、自分はアルファベットからのスタートだったので、大きな差が初め

*1 スタートダッシュ講座: 新中1対象の講座(2~3月に開講)。
 *2 フレッシュャーズ講座: 新高1対象の春期講習。

* SUMMING-UP LABORATORY: 高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答案は担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。



前田 直毅さん (文1・駒場東邦)

W.S.: 英語は正しい練習の積み重ねです。単語帳だけをコツコツ覚えても、ひたすら問題集をやっても効果的ではないと思います。

英単語は英語のイメージのまま身につけて、文法も英語の発想を軸に理解して、自分でたくさん読み、聞いて、書いて、話さないと英語の実力は伸びません。

グノの英語を通してこのことを強く実感しました。

生まれ変わったら、私も絶対に中1からグノに通います!

前田: 僕はグノの音読を真面目に毎日やるようになってから英語の力が大きく伸びました。早く終わらせようと思って散漫に音読してもダメ

中村: 私は元々英語を小学校からやっていて得意科目でした。高校になってからも、中高一貫の人もいるけれど、「英語は多分大丈夫」と自信を持っていました。だから、元々の英語力を、グノでさらに伸ばせたのだと思っています。

私の英語にはちょっと、ちゃんほらんなところがありました。でも、グノで毎週出合えた英文と、先生の深い解説のおかげで鍛えられ、文法も英語的な考え方でちゃんと積み上げられたので、私の英語に論理性が備えられたと思っています。

グノーブルの英語

前田: 僕は中学3年まで、SVOなどで区切ったり、括弧で括ったり英文を和訳しながら読んでいて、解釈にとっても時間がかかっていました。でも、グノで前から読んでいくことを教わって、それを毎回演習で実践していたら速読の力が身につきました。

実は、高3の途中までは前から読んでいっていましたが、音読を続け

ているうちに、英語の語順のまま、和訳せずに英文を解釈できるようになりました。

中村: 単語帳を使わないで、語彙力を伸ばせたのはグノのおかげです。

グノでは英単語に日本語の意味を対応させて教えるのではなく、「この単語はこんな語源で、こんなイメージがあるからこういう意味に派生していく」というのを教えてくれます。

長文の中で出てくる新しい単語は例外なく語源や本来のイメージから説明してもらえるので、聞いていて興味深いし、文脈の中でその単語がどんなふうに使われるのかも自然に身につきました。英語圏の人の頭の使い方まで分かってきて、効果的に語彙力を高められました。

測上: 語源を何回も説明してもらえたので、いつの間にか身につけてしまいました。いろいろな単語の成り立ちを知っていれば、初めて見る単語でも、その成り立ちと文脈から何となく意味を推測できるようになりました。

前田: 高3の初めのことですが、強く印象に残ったことがありました。



W.S.さん (文1・女子学院)

授業中に当たって、ある英文を和訳し始めた時に、先生が「英単語に日本語を対応させて覚えていても、うまく解釈できないことは多いよ」とおっしゃって、黒板に一部が重なっている円を2つ描きました。ほとんどすべての単語の概念が、英語と日本語ではずれていてぴったり一致することのほうが珍しいと先生が説明してくれました。

このことを強く意識し始めてから、英語ができるようになったと思います。

W.S.: 私は英語が得意ではなくて、受験英語で得点できることを目標にグノに入りましたが、いつの間にか、英語圏の文化、特にキリスト教の背景知識も分かってきて、先生が英文の解説をされる時にも、そういう話がとても面白くて必死に聞いていました。「大学に入ってから英語を頑張りたい」と思うきっかけになりました。

中村: 大学に入ると、英語を学ぶだけでなく、英語で論文やニュース記事をたくさん読まなければならないと思うので、グノの英語が活きるはずでした。

グノでは、アカデミックな論文も、内容の深い考察も、感動できる文学も扱われました。扱う英文は時事的な話題も多くて、毎年使い回しされている英文ではありません。

実用的な英語を読ませてもらったので、高校生のうちから英語で学ぶ経験ができました。大学の授業だけでなく将来の就職にも役立つと思います。

グノの英語は受験のためだけの英語ではなくツールとして使える英語でした。

特に、グノは音読を重視していて、英語を声に出すのが大事だと思う私はとても共感できました。東大生でも、受験英語だけをやってきて、英

会話が全然できない人は多いかもしれません。私はそういう人に絶対になりたくなかったので、GSL*1を大切に、リスニングや音読にも真剣に取り組んでいました。

測上: 私もグノの英語を将来に活かせると思います。英作文はたくさん添削していただきましたが、カジュアルな英作文もたくさん書いているうちに、近所の外国人とも英語で喋れるようになりました。英作文の添削やGSLのおかげで、英会話の力も自然と身についたようです。

グノーブルの数学

測上: 演習量が大切な科目ですから、宿題は結構多かったのですが、素晴らしいのは、それらすべてに先生が目を通してくださったことです。数学的な考え方が学べただけではなく、答案の書き方も指導していただけだったので、良い答案を書けるようになったと思います。

先生はコメントをたくさん書いてくださって、それを見るとやる気が出たりうれしくなったりしました。的確なアドバイスをいただけて、「ここは気をつけよう」と印象に残りました。

W.S.: グノで数学の授業を受けたのは高3の4月からでした。他塾の授業とは全然違うのでびっくりしました。

数学の考え方を日本語で捉えられるように指導していただけたので、超文系人間の私は自分に「ぴったりだ」と思いました。

自分で問題集を解いたり、他塾で授業を受けたりしても、設問があつて模範解答があつて、数学嫌いな人間からすると「そうなんですか」で終わってしまいます。

一方、グノの授業では、「こういう問題はこういうふうに思考していく



中村 真実さん (文1・筑波大学附属)

んだ」と日本語で納得できました。それからセルフチェックシート*2も良かったです。セルフチェックシートを提出すると先生がいろいろアドバイスをくださいます。人に見られていると思うときちゃんと取り組みますし、自分がどこでつまづいていたのかを日本語で分析できます。数学が苦手で、できない問題も解説を見て「へー」で終わっていたのが劇的に変わりました。

グノーブルの国語

測上: 中学3年で現代文を受けました。

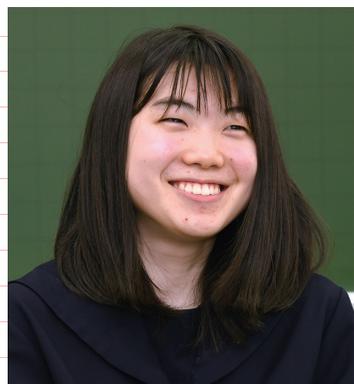
国語は自信があつて定期テストの点数も良かったのですが、それまで現代文を勉強したことはなくて、勉強法が分かっていませんでした。グノの国語では添削を受けられたので、独り善がりな考え方から抜け出して、現代文をきちんと勉強するきっかけになりました。

前田: 僕は高校2年で古文、高校3年で東大国語を受けました。

古文は高1と高2の合同ですが、高校1年で通っていた友達が古文の成績を上げていたので、僕も高校2年のタイミングで取ることにしました。担当の先生は具体例が分かりやすく、古文が身近に感じられて大き

P5 *1 Gnoble Sound Laboratory: 中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

*2 セルフチェックシート: 高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。



淵上 友結さん (文I・白百合学園)

く伸びました。受験直前期の古文の勉強は、忘れてしまった古文単語を復習するくらいで良かったので、とても楽でした。

高校3年では、ペースメーカーとしてグノの国語を利用しました。特に現代文は自分で何をやったらいいのかが分からないので助かりました。

現代文の難しい文章を丁寧に解説していただけて、内容が分かるようになったのがうれしかったです。

先生は「現代文は、哲学者とかが難しい言葉を使って簡単なことを書いている」とよくおっしゃっていました。そして、先生が好きなジャニーズなどの具体例で、難しいことを分かりやすく解説してくださったので、現代文も身近に感じられました。

W.S.: 私は信頼できる先生に添削していただきたくて、直前期に国語を取りました。

授業のテンポが良く、明るく接してくださって、素晴らしい授業でした。添削も点数をつけてくださって、コメントも書いてくださったので、とても参考になりました。

共通テストでいろいろあってショックを受けていましたが、直前講習が共通テストの次の日には始まったので、そこでペースを取り戻せたのも大きかったです。

グノーブルの先生

中村: どの先生もすごくテンションが高く、明るくはきはき喋ってくださって、こちらのやる気を引き出してくださいました。

教室が大きくなり近くで先生の表情も見られるので、先生のエネルギーは私たちに直接伝わってきました。先生たちはいつも生徒の目を見て授業を進めてくださって、安心して授業を受けられる環境でした。

それから、質問しようと思っても、いつもむすつとしていて先生には質問しづらいものです。グノにはそういう先生はいらっしゃいません。いつも気軽に質問したり、コミュニケーションを取ったりできました。

淵上: 中村さんの言うとおり、明るくて質問もしやすく、きちんと生徒のことを考えてくださっているのが伝わってきました。

そして、先生がすぐに顔を覚えてくださるのがグノならではの特色です。講習しか取っていなかった先生がずっと覚えていてくださったり、中学の時に教わっていた先生から受験期にも声をかけていただいたりしました。

グノの先生には相談させていただくことも多く、いつも親身になっていただけたので、安心して勉強を続けられました。

ちなみに、私が「東大を受けたい」と決意したのは、中学の頃に教わっていた数学の先生がきっかけです。人生に良い影響を与えていただいたことにも感謝しています。

前田: 先生方から担当科目への愛が伝わってきました(笑)。

英語の先生は、毎日長時間の授業をやっているのに、どの授業でもエンジンがかかっていて、僕はいつも「すごい」と思っていました。

国語の先生からも本当に教えるの

が好きなのが伝わってきて、「自分も頑張らないといけない」と思っていました。

やる気のない先生に教わるとなああになります。グノの先生に限ってそういうことは絶対にありません。

W.S.: グノだと、目の前に先生がいらっしゃったらその場で質問できます。わざわざ講師室に行って並ぶ必要はありません。メールでも質問にも相談に乗っていただけるのはすごいです。他塾のようにアドバイザーが別にいるのではなく、いつも教えてくださる先生が相談に乗ってくださるのが良かったです。

グノーブルの環境

中村: 振替制度が大きかったです。グノには休まずに受けられる仕組みが整っていて、私も最後まで休まずに通塾できました。

前田: 僕も、1コマから振替できて、自分のスケジュールに合わせて授業を受けられるのが良かったと思います。

対面で授業を受けられなくても、映像授業があって、添削も先生にお願いできたのでブランクをつくらずに授業を受けられました。

体育祭の直前などはどうしても塾



前田 直毅さん (文I・駒場東邦)

を休まざるを得ません。本当に何のフォローもないと「1週間を無駄にした」という気持ちになって、その後の復習の質がどんどん落ちます。グノではそういうことが全くありませんでした。

淵上: 私は教室に魅力を感じました。どこの校舎も同じ雰囲気、教室がきれいで勉強に集中できました。違う校舎でも「いつものグノだ」という雰囲気があって、落ち着いて授業を受けられました。

中村: 席は自由なので、私はいつも絶対に一番前に座っていました。そのほうが先生の話集中して聞けるし、緊張感があつたからです。

高2の初めの頃はコロナ禍でグノに行けませんでした。でも、グノは間を空けることなく映像授業を用意してくれて、メールでの添削対応もありました。勉強のペースが崩れずに済みました。

当時から「グノの授業は絶対に受けるぞ」という気持ちがあって、オンライン対応は本当にありがたかったです。

しかも、高3になっても通常の授業に加えて映像も配信してもらえたので、もう一回やり直すことができるメリットもありました。

それから、直前期には過去問の添削をしていただけたのも印象的でした。夜の10時に要約の添削を送ったら、11時には返ってきてびっくりしたこともあり。添削の対応からも先生の熱が伝わってきました。

後輩へのアドバイス

淵上: グノーブルのクラス分けテストをうまく活用してください。短期的な目標がないとだらけたりやる気がなくなったりするので、まずはクラス分けテストに向けてきちんと復

習するのがいいと思います。

GSLも含めて、グノの復習の継続は大切です。グノを信じてグノの勉強を積み重ねていけば合格は近づいてきます。

前田: 新しい英文をわざわざ読むくらいならグノの教材を復習しましょう。授業を受けて、GSLを聞いて、音読することを繰り返していけば、どんどん力がついていきます。グノの英文はそのくらい素晴らしいものばかりです。

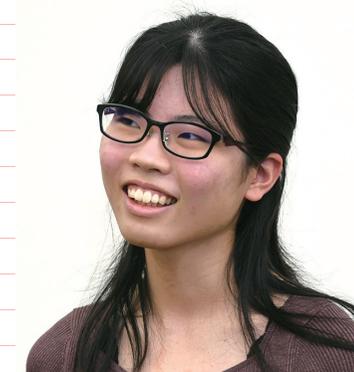
中村: 東大文系に関していえば、ほぼほぼ英語で決まると思います。だから、英語の勉強はきちんとしておいたほうが良いです。

私は過去問を2、3年分しか解いていませんが、グノの英語の授業を受けて復習ただけで力がつきました。しかも、グノの英語についていくと、合格だけでなくその先につながる英語力も伸びていると実感できます。英語は受験だけの勉強にとどめてはいけません。

W.S.: 中村さんの言うとおり、東大文系は英語で決まると思います。

グノには英語力を上げる教材と仕組みがそろっています。授業で解説されてしっかり理解できている英文を1週間毎日触れるのを大切にしてください。

私は直前期に過去問を解きながら、「グノで学んだことが活きている!」と何度も納得しました。グノの先生を信頼してついていけば大丈夫です。



W.S.さん (文I・女子学院)

東京大学
文系
Part 2

岩間 悠さん (文I・駒場東邦)
高橋 聖奈さん (文III [学校推薦型選抜]・光塩女子学院)
藤井 聡一郎さん (文III・麻布)

体育祭の時は1週間以上本当に忙しくて、勉強が厳しい状況になります。この時期は塾に行けないし、振替すらできませんでしたが、添削物を担当の先生にメールで送って添削してもらえるシステムがあります。メールで質問や相談もできました。手厚くサポートしてくれる環境が整っていたので、学校行事も塾と両立できました。

岩間 悠さん (文I・駒場東邦)

グノーブル入塾のきっかけ

高橋：中2の春に母から勧められて最初は英語で入塾しました。母は「グノーブルは英語がとても強い」という評判を聞いていたようです。
藤井：僕も最初は英語がきっかけでした。

は生徒との距離が近いし、クラスには一体感もあって、「これはいい塾だ」とちょっと感動しました。少人数で教室の大きさもちょうど良く、教壇もないので先生が上にいる感じがありません。先生と生徒が一緒に授業をしている雰囲気が自分に合っていました。

れる経験から成長できたと思っています。人前で喋るのに緊張する性格だったのですが、グノでは先生と生徒のやりとりで授業が進行します。だから、授業中に当てられることに不安があり、きちんと答えられるように予習と復習をしてからグノに向かっていました。

グノーブルに通う時の気持ち

高2の春、緊急事態宣言下で学校が休校になって、剣道部の活動がいつ再開されるかも分からず、引退の時期もうやむやになってしまったので、「この機会に塾を探そう」と思い立ちました。

岩間：グノの英語の授業は、高3になると結構長いのですが、回を重ねるうちにどんどん楽しくなって、授業の時間はあっという間に過ぎていくようになりました。

剣道部の帰国生の友達がグノ生だったので、「帰国生が通う英語の塾なんだから相当良い塾だろう」と思って調べてみたら、とても評判が良く、講習を受けてみたらその評判どおりだと納得できました。

毎回楽しみで仕方なくなった要因として、自分の英語力が上がっていくのを実感できたのも大きかったと思います。英語力が伸びただけでなく、グノの授業を受けているうちに集中力も上がりました。

岩間：高2になる頃、それまでの塾の方針が合わないと感じて別の塾を探していた時に、仲の良かった学校の友達が、グノの魅力をとくさん教えてくれたのがきっかけです。

東大入試の本番でも、国語や社会は150分ですが、グノで培った集中力を活かしました。

講習を受けてみたら、グノの先生

藤井：僕の場合は、授業中に当てら



岩間 悠さん (文I・駒場東邦)



高橋 聖奈さん (文III [学校推薦型選抜]・光塩女子学院)

先生からはいつも「演習や練習段階の失敗は良いことしかない」と言われていましたが、緊張がほぐれて慣れたのは高3の夏休み明けです。この頃は自分が成長している感じがあって、自信を持って塾に向かえるようになっていました。

同時に、失敗をたくさん経験したことで、失敗に慣れたというのがあります。「間違えるからこそ成長できる」と自覚できた時期でした。
高橋：グノの授業は、中2で入塾してから卒業するまで楽しい印象がなく、行かされている感は皆無でした。

高2の冬から始まった英語のサミングアップ*は点数が全然安定しなくて、たまに満点を取れても次の週に0点になるようなことも多く、そのたびに一喜一憂していました。

でも、解説に入るたびに先生が「今の失敗は将来の成長につながるから、良いことしかありません」と言ってくださるので、切り替えていつでも前向きに授業を楽しめました。先生のポジティブな言葉は大きかったと思います。

学校でのグノーブルの話

高橋：仲の良い友達が何人もグノに通っていたので、学校でもよくグノの話をしていました。

英語の授業で扱う英文は興味深いものや感動させられるものが多かったため、英文の内容についてもあれこれ話していました。

友達同士で「すごい解釈だね」と褒め合ったり、逆に「こんな解釈もできるんじゃない」と言い合ったりして刺激を受け合っていました。

藤井：サミングアップの英文が難しかった時は、他のグノ生と「どうだった?」「ここはこう解釈するんだよ」とよく話題になりました。違

うクラスのグノ生も多かったのですが、みんなで積極的に情報を交換していました。

岩間：駒東はどのクラスにも5~10人はグノ生がいました。僕のクラスは9人でした。

だから、学校に行くとき必ずグノの話題になりました。クラス分けテストのあとは廊下でグノ生が集結してとても盛り上がっていました。

それから、僕のクラスにいるグノ生のうち3人は同じ路線で通学していたので、一緒に帰る時にグノの授業を振り返って話していました。先生に当てられてトンチンカンなことを答えたこととか、今日は7回も発言したとか、そんなことでも話題にするのが楽しかったです。

特に仲の良い友達が、学校もグノも同じクラスで、互いにライバル視しながら、競って授業に積極的に参加していました。「もっとたくさん発言しよう」という意識が芽生え、良い刺激になりました。

学校と塾の両立

岩間：駒東はとても行事が多く、行事に熱心に参加する生徒が多数派です。でも、グノなら100%両立が可能です。

まずグノの授業は宿題が中心ではなくて、授業に来てからの演習と復習が中心なので、行事で忙しい時にも授業からたくさん得られるものがあります。

それから、グノには振替システムがあって、これは大きなメリットです。僕も、行事があるたびに振り替えさせていただきました。

それから、体育祭の時は1週間以上本当に忙しくて、勉強が厳しい状況になります。この時期は塾に行けないし、振替すらできませんでしたが、添削物を担当の先生にメールで

送って添削してもらえるシステムがあります。メールで質問や相談もできました。

このように手厚くサポートしてくれる環境が整っていたので、短期間で終わる行事も長期間準備が必要な行事も塾と両立できました。

藤井：グノは宿題の量が多くなかったため、学校の勉強や部活動と両立できるだけの時間的な余裕がありました。「宿題の量が多くて部活に行けない」というようなありがちな悩みはグノでは心配ありません。

僕は学校の勉強も大事だと思っていて、定期テストにも真剣に臨んでいました。そういう時は学校のテスト勉強をしつつグノの勉強もしていました。

グノは、勉強を強制することがなくて、生徒の自主性を重んじている感じで、そこも好印象でした。

高橋：私は高1、高2で部活の練習が割とありました。東大推薦に評定が必要なため、学校の成績も取らなければならず、意外と大変でした。

でも、グノの英語で推奨されている音読を使った復習で、とても効率良く英語を勉強できました。高3に

* SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

なると地歴に時間を割きたくて英語を後回しにしがちですが、音読はスキマ時間にサクッとできて、しかも短時間でできるのにたくさんのメリットがあります。

音読を推奨するグノだからこそ塾と学校だけでなく、他の科目の勉強とも両立できました。

グノーブルの英語

藤井：グノで英語を勉強するようになって、学校の実力テストの順位が安定しました。

いろいろ理由はあると思いますが、グノの音読は特に効いていたと思います。

高2の頃に、先生から「お風呂での音読はおすすめです」と教わって、実際にそのとおりに音読するようになってから伸びました。

入浴は習慣なので、音読も毎日の習慣になって、そのうちに、英文を一読して内容をつかめるようになって、読むスピードも上がりました。

岩間：グノの先生が何度もおっしゃっていたのは「ねばり強く続けていると、ボンと伸びるポイントがある」でした。

本当にそのとおりで、僕もジャンプポイントを3回経験しました。1回目は高2の夏、2回目は高3の秋、3回目は二次試験の10日前です。

1回目は、グノに入ってから音読での復習を実践していたら、一気に伸びました。a3*1からのスタートでしたが、次のクラス分けテストで一気にaに上がりました。このジャンプポイントを迎えられたのは大きかったです。

2回目は、社会の勉強も始めた時期で、英語がこれ以上伸びるか心配でした。でも、先生のおっしゃることを信じて音読を続けたり、授業に積極的に参加して復習をすることで、

「あれ？ 最近ちょっとサミングアップの点数が良いな？」と感じることが多くなって、そこから一気にグーンと伸びました。

3回目は自分でも衝撃的でした。本番が近づいてきた頃に、「これ以上は伸びないのかな？」と不安になることもありました。それでも今までやってきたことを信じて勉強を続けていたら、いきなり英文がさらにスラスラ読めるようになりました。先生のおっしゃる「ねばり強く続けているとボンと伸びる」は本当でした。2月に入ったばかりの時期と二次試験の10日前では過去問を解いても10点くらいの差が生まれました。最後のジャンプのおかげで本番も安心して受験できました。

グノレットに書かれていた「グノの勉強を信じていれば最後まで伸びる」という先輩の話で以前は信じていませんでした。でも、実際に経験して、改めてグノのすごさを実感させられました。

高橋：私は地歴で通っていた塾で、英語の体験授業を無料で受けたことがあります。英文の内容には注目せず、SVOなどを区切って文法的に解説していく授業でした。

グノの英語の授業は、文法の解説もありますが、とにかく書かれている内容を楽しめる授業です。英語を勉強しながら、英文の内容から、多くの教養や英語的な考え方が学べる授業なので、いろいろな発見もありますし、様々なことを考えさせられる刺激がたくさんあります。

東大文学部の推薦入試で提出論文を書く時にも、グノで扱った英文やその時の解説からたくさんの材料やヒントをいただきました。

音読の効果

岩間：音読を通して伸びたのは英語



藤井 聡一朗さん (文Ⅲ・麻布)

力全般です。

1つ目は、音読では返り読みしないので、英文を行ったり来たりせず速読できるようになります。

2つ目は、GSL*2をリスニング教材として活用することを前提として音読するので、当然リスニング力も伸びます。

3つ目は、英文を日本語に訳さず、英語を英語のまま自然と読めるようになって、日本語を使わないので、英語のまま生き生き読めるという意味で読解力が向上します。

4つ目は英作文力です。繰り返し音読すると、英語が自分の頭の中にフレーズとして入ってきます。これが英作文で役立ちます。「ここはinか？ onか？」とか「ここは定冠詞か？ 不定冠詞か？」とか、そういうのも文法だけから考えると厳しいですが、音読によって自然とフレーズが頭に入ってくるので、英作文力の向上にもつながります。

速読と精読、英作文とリスニングのすべてがグノの音読で伸びます。

藤井：最初は「音読で英語力が伸びるのかな？」と半信半疑でした。

ところが、「迫真の演技で、相手に

伝えるつもりで音読しなさい」という先生の言葉を意識しながら、自分がスピーチしているつもりで音読しているうちに、「どうしてここでこの表現を使っているのか？」に、確信が持てるような気がしてきました。高3の秋くらいでした。

さらに、内容的に分かっていなかったところが分かるようになったり、分かっていたところは自分が使える表現として入ってくるようになりました。

初見の英文でも、著者とつながっている感じができて読解力が上がり、英作文にも応用できるようになりました。

ただやみくもに音読するだけではダメで、誰かに聞かせるつもりで音読するのが大切です。

高橋：何よりも効率良く英語に触れられるのが音読のメリットです。

高3になると、英語以外の科目に時間を割いて英文に触れられなくなりがちです。でも、寝る前に30分とかお風呂や電車移動の時とかに、スマホ片手にGnoTube*を聞きながらサクッと音読すれば、それが英語の復習になります。

そういう時間を有効活用して、「1日にトータルで1時間は英語に触れる」といったノルマを自分に課しておく、英語の力が総合的に伸びます。

独特な英語の授業

藤井：僕は元々文法についてそんなにしっかり理解していなかったのに、英文を読んでも内容がつかみきれないという状態でした。

内容がつかめないと、「とにかく問題をたくさん」と思いがちです。でも、グノでの勉強で、「土台を固める」「同じ英文を何度も読み込む」ということの大切さが分かりました。

英文法の根本にある考え方や、ネイティブの人たちの感じ方をグノで学んでから、グノで用意された英文を何度も読み込む経験を積んだことは大きかったです。

例えば英文では倒置や省略はよくありますが、そういうところからも、筆者の考えや意識が読み取れるようになって、英語が身近に感じられるようになりました。

岩間：グノに入る前の自分の勉強や他塾や学校の勉強だと、英語というひとつの言語を、日本語を使って解釈する勉強という意味合いが強いように思います。

一方、英語を英語として学ぶ側面が強いのグノの特徴です。高3の読解の先生はいつも、「読む、という行為は筆者と読者の対話」だとおっしゃっていました。英文を読みながら、こちらも疑問を持ったり、納得したり、気持ちも動くようになったら、英語を英語として読めるようになりました。

それから、グノの授業はただの英語の授業ではなくて、英語を読むのに必要な前提知識や教養もたくさん教えてもらえました。

例えば、英語はヨーロッパ系の言語でキリスト教を背景にしています。このことに関連する文章もたくさん読めたので、世界史選択の自分は世界史の知識も融合しながら、英文を読む土台になる知識を増やしていきました。これが読解でとても役立ちました。

もうひとつの大きな特徴はやはり英単語の指導です。特に高3の前期中で、単語が段々とイメージを伴って覚えられるようになっていきました。

その結果、私大の問題で単語帳に載っていない難しい単語が出てきても、グノで教わった知識から推測できました。知らない単語も、グノで学んだことを活かして語源をもとに



岩間 悠さん (文I・駒場東邦)

分解して考えていくと、特に私大の問題は記号選択中心なのですぐに正しいものを選べます。

単語を語源から学ぶのはグノのすごさです。

藤井：グノで学んだことの中では、僕も日本語を介さずに英語で読めるようになったのが一番です。

日本語を介するとどうしても英文を読むのが遅くなりますし、作者の意図もつかみにくくなります。英語のまま英文を読んでいくと、速く読めて、作者の意図も一読でつかめます。

それから、接尾辞や接頭辞、語根の知識を覚えてもらえたのも本当に良かったです。単語帳中心の勉強になりがちな英語の勉強を変えてくれたのがグノでした。大学では第二外国語を学んでいきますが、その勉強にも適用できる勉強法です。

高橋：1回の授業で扱う文章量が多いのもグノの特徴です。学校だとひとつの長文を2週に分けるといった感じで進度が遅いのに対して、グノは1日に5つぐらいの長文を扱います。

怒涛の勢いで進んでいきますが、生徒が置いてけぼりにされるわけはありません。英文の内容が興味深く、先生が生徒を授業に巻き込んでくださるので頑張っついていけま

*1 (クラス設定について) この学年の高2時の英語は、a (最上位) から、a1、a2、a3、a4の設定。
*2 Gnable Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

*GnoTube：SUMMING-UPの英文(年間45本)を音声と流れるようなスクリーン画像をセットにしてYouTubeで配信しています。(サミングアップは塾生限定公開)

16期生 合格者インタビュー

す。英語だけでなくグノの勉強全般の話になりますが、やはり毎週添削していただける経験はすごく貴重だと思います。私は一喜一憂しやすい性格なので、点数を見て悲観的になったり、「本当に自分の勉強法が合っているのか？」などと不安になったりしがちでした。でも、毎週添削していただけたおかげで信じて継続することができました。ひとつの目標に向かって習慣化することや繰り返していくことがどれだけ大切かを中高6年間かけて学びました。受験勉強を通して自分が強くなったと思いますし、その強さに一番密接につながっているのがグノです。

な話を通して、文章に対する具体例を提示するという授業方法です。自分にとって身近な話題を話していただけるので、難解に見える現代文もイメージをつかめます。解答の書き方もグノで学びました。「本文を読んでいない人でも分かる解答の書き方を意識しなさい」と先生はよくおっしゃっていました。それを意識して答案を書くようになってから、自分の答案を客観的に判断できるようになって、現代文の点数が安定しました。



高橋 聖奈さん
(文Ⅲ [学校推薦型選抜]・光塩女子学院)

な思考をもとに数学を解いているうちに、どんどん問題が解けるようになりました。

グノで数学を受講し始めたのは高2になってからです。高1までは数学は微妙でしたが、グノの授業を自粛期間に受けたことで成績が飛躍的に上昇しました。2か月しか受けていないのに全国模試の偏差値が15くらい上がって、「これはすごい」と自分でもびっくりしました。

セルフチェックシート*については講習の時から聞いていて「これは良い」と思っていました。自分の出来の評価と、解いた時の思考のプロセスを書いていきます。それによって「自分がどういう思考のプロセスで解答に至ったのか？」が整理されて、数学の力が大きく伸びます。「数学は解くだけだ」と思われがちですが、実はその解くプロセスが一番重要と気づかされます。先生はセルフチェックシートをもとに授業内容を構成して下さいます。生徒一人ひとりのセルフチェックシートを念頭に置いて授業がつくれるので、誰にとっても効果的な授業になっています。

セルフチェックシートをもとに一人ひとりに的確なアドバイスもして下さって、家庭教師と同じように手厚く見ていただける授業でした。

グノーブルの国語

高橋：グノーブルの国語は高3の1年間お世話になりました。担当の先生には一般入試の対策に加えて、推薦入試の対策でもとてもお世話になりました。

東大の一般入試の文章は難解なものも多くて、特に第4問は何を言っているのかが分からないことも少なくありません。でも、一見ただの雑談のような先生の話の踏まえて文章に立ち返ると、「そういうことだったのか！」という気づきがあって、知らないうちに自分の中で文章が理解できているという経験がよくありました。

推薦入試の一次選考では提出論文や志願理由書などをいろいろ用意します。これらの書類に関して、内容も形式も先生にチェックしていただきました。面接の練習にも毎日のように付き合ってくださいました。本当にお世話になりました。

藤井：僕も東大国語を受講しましたが、グノの授業は、一見雑談のよう

それから、先生が提示して下さる解答がとても分かりやすかったのが印象的でした。高校生が背伸びしても書けないような答案なのではなくて、僕たちのお手本になるような答案を用意して下さるのを先生ご自身も意識していってくださったと思います。

岩間：僕も季節講習でグノの国語を受けました。国語の授業も、グノの精神を引き継いでいて、楽しい雰囲気は英語と同じでした。

藤井君の言うとおり、高校3年生がつかれる語彙力や表現力の範囲で答案が提示されて、とても参考になりました。よくある解答は変に格好をつけていたり難解すぎたりして、「こんな言葉は使えないだろう」というような二字熟語や四字熟語も見られます。グノの解答はそうではありませんでした。僕たちでも書ける解答で、一番お手本になりました。

グノーブルの数学

岩間：僕が最終的に、「数学が得意だ」と思える状態で入試に臨めたのはグノのおかげです。

グノの数学は他のどことも違っていました。数学を、日本語を使って論理的体系的に学習できる授業になっていて、そこで培われる論理的

藤井：僕も高2からグノで数学を教わっていました。一番良かったのは、多面的な見方ができるようになったことです。

例えば、曲線が直角になっていることはベクトルや幾何で多面的に表現できます。ひとつの事象に対していろいろな方向から見られるようになったことで、持っている知識をどんどん活かせるようになりました。

セルフチェックシートでは自分の思考プロセスを書くので、「どこで詰まっていたのか？」を洗い出すのに役立ちます。数学の勉強では、分からない問題があると、解答を見て「ああ、そうなんだ」と分かった気になって終わりがちです。でも、分からないところを分からないままにしていると、次に似たような問題があっても解けません。セルフチェックシートを書くことで、「どこが分からなかったのか？」を再確認できて、次に問題を解く時に活かされます。

それから、「口頭で相手に説明できるか？」を基準にして、その問題ができたかできなかったかを判断する方法も学びました。自分で「解けた」と思っている、意外と説明できなかったり、「どうしてここはこうじゃないの？」と聞かれると返答に困って考え込んでしまったりします。だから、口頭で説明するのは良い練習になりました。

高3の夏休み明けからのテスト演習では、80分で4題を解きます。最初は戸惑いましたが、テストの場数を踏んで集中力がつきましたし、自分の解き方を意識したり、自分に適した解き順を見つけたりするきっかけになりました。

グノーブルの先生

岩間：グノは、どの先生にも熱い思いがあって、そこがグノの絶対的な

強みだと思います。

授業に出てみれば、先生が本当に熱心なのが伝わってきます。だから、「こちら頑張りたい」という気持ちになります。

どの先生も最初の授業で生徒の顔と名前を覚えてくださいます。初回の授業なのに名前前で呼んでいただけると、「自分はもう認識されているんだ」とうれしい気持ちになります。

先日の受験報告会でも、2年前にたった4回の授業しか受けていなかった先生が、「ここに座っていたよね」と僕のことを覚えてくださって、とても感動しました。高橋：本当に熱意あふれる先生方で、まさに「全身全霊」という言葉がぴったりの熱心さに感動したこともありました。

グノの授業は講義型でなく、生徒の名前やキャラクターまで覚えていて巻き込んでいく授業スタイルが特徴です。

とても面倒見が良い先生ばかりで、質問や相談がしやすいのもありがたかったです。

高2の冬に先生が変わる時、「これまでずっとαだったけれど、高3でクラスが落ちたらどうしよう？」などと不安になって、訳もなく悩んでいた時期もありました。この時にも新しく担当になったばかりの先生が長い時間を取って面談して下さって、一つひとつ不安要素を解決して緊張を和らげてくださいました。

生徒の精神的なサポートもしっかりして下さる良い先生がそろっている塾です。

藤井：二人の言うとおり、生徒の名前をすぐに覚えてくださる先生ばかりで、とても良い塾です。

教材として用意して下さる英文も、英語として学ぶのにふさわしいばかりじゃなくて、内容が僕たちの興味を引くもの、受験に向かう僕た



藤井 聡一郎さん (文Ⅲ・麻布)

ちに役立つものを用意して下さるなど、生徒の目線になって考えてくださっていて、授業もそういう組み立てになっているのをいつも実感していました。

先輩へのアドバイス

高橋：私は有名な進学校出身ではありません。東大を受験する生徒も毎年4、5人しかいなくて、学校の中で勉強していると、自分の全国的なレベルを把握しにくくて東大受験をためらうことも何回かありました。

そんな時に「グノの英語でαをキープできたから、英語は全国的に大丈夫なはずだ」と自信を持てたのは大きかったです。英語という科目に自信が持てたことで東大受験を貫けたと思っています。進学校でない人でもグノを信じていれば東大を目指すことができます。

東大の推薦入試に関して、私の学校では初めての出願でした。「私でいいのかな？」という不安が出願の時にありましたし、出願したあと「推薦の準備のために、一般受験生に後れを取ってしまうのでは」という焦りがありました。でも、グノの先生方が誠心誠意助けてくださいました。

*セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

16期生 合格者インタビュー

一般入試と推薦入試を併願する後輩の方々には、決して天才だけが合格する入試ではないことを伝えたいです。しっかりと志や熱意を持って努力すれば、推薦入試も決して手に負えない受験ではないので諦めないでください。

藤井：一番大事なものは、グノの先生のおっしゃることを信じてやり切ることです。模試を受けて結果が悪くなかったり、他塾の人を見て「こんなに過去問をやっているのか」と思ったりしても、焦ることなく、グノの先生のおっしゃることを信じて勉強したら最終的に合格しました。

迷って他の勉強法に手を出すとロスが生じるので、グノでやってきた勉強法を信じてやり遂げるべきです。

岩間：どんな時でも諦めないことが大切です。自分自身は、2月の私大が終わった時や、東大入試の1日目で国語や数学が難しかった時、くじけそうになりました。でも、終わったことは変えられないので、「次に何をするか、そして今何をすべきかが受験においては大事だ」と自分に言い聞かせて、最後まで諦めませんでした。これが合格につながったのだと思います。

グノの授業に集中して積極的に参加し、帰ったあとも丁寧に復習して音読を続けるサイクルで勉強すれば、絶対に実力がつきます。グノを信じて頑張ってください。

16期生 合格者インタビュー

東京大学

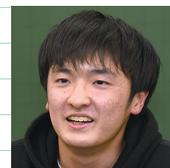
理系

【座談会出席者】(五十音順、本文中敬称略)

Part 1



おざわ ももこ
小澤 桃子さん
(理I・桜蔭)



かわしま りょうや
川島 遼也さん
(理I・筑波大学附属駒場)



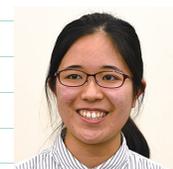
たけうち げん
竹内 紘さん
(理I・筑波大学附属駒場)



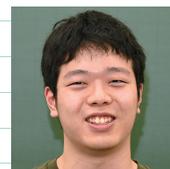
なかだて ぜん
中橋 然さん
(理I・筑波大学附属)

※特別対談 中橋さん×兵頭先生(中学受験グノーブル)を21ページに掲載!

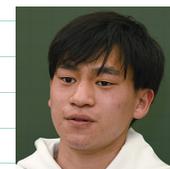
Part 2



さわだ えり
澤田 恵里さん
(理I・桜蔭)



たなか りくと
田中 陸登さん
(理I・早稲田)



なかむら たいよう
中村 太陽さん
(理II・駒場東邦)



ほりお ひな
堀尾 日菜さん
(理III・桜蔭)

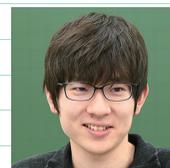


やまだ てつし
山田 哲士さん
(理I・駒場東邦)

Part 3



いしだ りょうま
石田 稜馬さん
(理I・芝)



ささき しんたるう
佐々木 慎太郎さん
(理II・暁星)



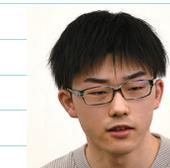
ちはら だいち
千原 大知さん
(理II・麻布)



ふじかけ さや
藤掛 沙耶さん
(理II・女子学院)



ふじもと ゆうすけ
藤本 悠佑さん
(理I・麻布)



やまもと ひであき
山本 英昂さん
(理I・筑波大学附属駒場)

東京大学
理系
Part 1

小澤 桃子さん (理I・桜蔭)
川島 遼也さん (理I・筑波大学附属駒場)
竹内 紘さん (理I・筑波大学附属駒場)
中楯 然さん (理I・筑波大学附属)

中1の4月に、自宅と学校の双方から通いやすいお茶の水の塾を探していて、他塾とグノの春期講習を受けてみました。グノに決めたのは、グノの授業に、「受験での合格を目指す」というよりも、「勉強することは楽しい」という雰囲気があったからです。
小澤 桃子さん (理I・桜蔭)

グノーブル入塾のきっかけ

小澤：中1になる3月に、自宅と学校の双方から通いやすいお茶の水の塾を探していて、他塾とグノの講習を受けてみました。グノに決めたのは、グノの授業に、「受験での合格を目指す」というよりも、「勉強することは楽しい」という雰囲気があったからです。

それから、グノは少人数で、先生

を近くに感じられました。授業も、一人ひとりの生徒の理解に合わせて進んでいきました。これらが決め手となって、グノに英語と数学で入塾しました。

川島：高1の春に大学受験を意識して塾を探し始めましたが、僕は少数派のほうが好みというのもあって、学校の人がたくさん通う他塾は避けました。

グノの講習を受けてみたのは、友達を楽しそうに通っていたからです。授業を受けてみて、僕もグノの自由な雰囲気が気に入りました。その時は英語、高2からは数学と化学、直前期には東大国語を受けました。

竹内：僕も同じく高1の4月に英語で入りました。中3の期末テストで英語が最下位クラスになり、初めて大学受験に危機感を覚えました。そこまでは全く受験を考えず、塾にも通っていませんでしたが、「英語がヤバイから、とりあえず英語の評判のいい塾に入ろう」と思いました。

川島君と同じで、周りには他塾に通う人ばかりでしたが、その塾は宿題が多過ぎるようでした。僕は野

球部に所属していたので、「宿題が少ない」と聞いていたグノにしました。

中楯：僕は小学校から高校まで附属校だったので、高校までは受験がありませんでした。それでも、小学校の時に中学受験グノーブル(自由が丘校)には通っていました。その流れで新中1のスタートダッシュ講座*から大学受験グノーブルに入りました。

グノーブルの授業

中楯：特に高3の英語の授業は毎週ウキウキしながら受けるくらい面白かったです。気楽というか、ありのままの自分で授業に積極的に参加できました。

数学の授業は僕には難しく、「よし、やるぞ!」という精神的準備が必要な授業でしたが、「先生が全力だから自分も頑張ろう」という気持ちでした。

竹内：グノの授業には程良い緊張感があって集中できました。大人数の隅のほうで黙っていれば、ただ時間



小澤 桃子さん (理I・桜蔭)

が過ぎていくような環境だとボーツとしてしまいます。

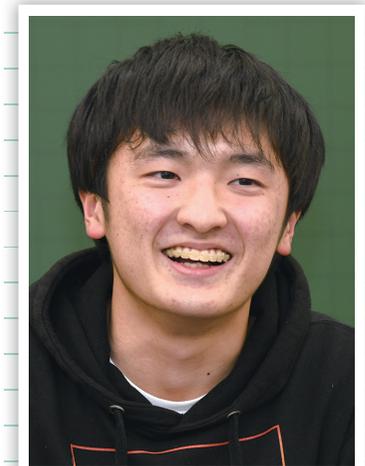
でもグノでは、ボーツとする間がありません。毎週先生が一人ひとりの答案をその場で添削して下さるし、解説は生徒とやりとりしながら進んでいきます。発言の機会が回ってくるので気が抜けません。

川島：竹内君の言うとおり、緊張感のある授業でした。だからといって、塾に行くのが嫌だとか憂鬱だとか、そういう気持ちになることは全くなく、最後まで楽しく通えました。

小澤：私も「塾に行くのが嫌だ」と思うことは全然ありませんでした。

グノは「大学受験」とついています。が、受験勉強に特化しているわけではありません。英語は受験科目としてではなく、英語力そのものを引き上げていただけますし、生物や物理は、受験勉強の範囲外のことにまで踏み込んで教えていただけました。そういうところがグノの魅力でした。

竹内：グノは授業の振替ができて、それは本当に大きかったです。文化祭の準備で学校に残らなければならぬ時も、映像授業のおかげで塾と両立できました。授業が受けやすい環境が整っていたと思います。



川島 遼也さん (理I・筑波大学附属駒場)

川島：文化祭で忙しかった高3の2学期は特に、映像授業が充実していたおかげでグノの授業に穴をあけず

にすんで、本当にありがたかったです。中楯：部活の日にはグノの授業を入れるのを避けていましたが、それでも部活が入る時があって、そういう時にスマホでグノの授業を振り返ることができてありがたかったです。

小澤：グノは授業中に集中することで効果が上がる塾です。大量の宿題もないので、学校の授業中に塾の内職をする必要がなく助かりました。

グノーブルの英語

小澤：中学生の時は英語が苦手で、「単語を暗記していないからかな?」とっていました。

でも、高1でGSL*1をちゃんとやり始めて、その時から英文を読むスピードが格段に上がりました。

英文を読む時は、頭の中で音読するから時間がかかります。でも、GSLを使うと、音声のスピードが速くて待てられないので、自分の理解が追い付かなければいけません。そういう速さに慣れることで読むスピードが上がったのだと思います。

それから、中3と高1の時のグノのテキストには英文法の用例とその和訳が載っていて*2、その英訳をたくさんやったら、自分の中に英文のストックが増えました。

川島：グノでは単語帳を使わないので、英単語を日本語訳で覚えてますという勉強はしませんでした。

グノの授業で語源に興味湧くようになったので、自分から単語を調べにいく姿勢も身につきました。英英辞典からネイティブの感覚を感じ取るのは興味深くてモチベーションが上がったので、そこでも英語の力が伸びたと思います。



竹内 紘さん (理I・筑波大学附属駒場)

単語帳を使わないことに不安はありませんでした。語源を意識するグノのやり方を信じて、実際に英語ができるようになっていったので、正しい勉強法だったと思っています。

竹内：僕は、最初はグノを信じ切っていなくて単語帳をやっていました。だから、単語の日本語訳は知っていて、高1、高2の頃は先生に「これどういう意味?」と聞かれてすぐに答えられました。

ところが、「この文章は全体でどういう意味?」と聞かれると「はあ?」となることが増えてきて、高3になってようやく「英単語を日本語訳で覚えるだけではいけない」と気づきました。表面的に訳せること、全体の流れをつかんで内容を理解するのは別だということです。

英文の内容をちゃんと理解してからの音読も、先生から口酸っぱく言われてやるようになりました。以前は英文を読んでもトンチンカンだったのが、高3の秋から「見えるぞ」となって、英文を読むことが本当に楽しいと思えるほどに成長しました。

中楯：僕も英語の伸びを実感したのは高3の秋です。急に伸びた理由は毎日の音読の効果が始まったからだ

* スタートダッシュ講座：新中1対象の講座(2~3月に開講)。

* 1 Gnoble Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

* 2 Sentences for Workout：必要な文法事項を頭の中にストックして自在に活用できるようにする例文集。耳も口も鍛える音声教材(GSL)もそろっています。

と思います。グノに通っている学校のみなが音読しているのを見て、「自分よりできる人もやっているのに、自分がやらないのは絶対にダメだ」と感じて、頑張って音読していました。それが習慣になって、寝る前に10分くらい音読しないと気持ち悪いくらいになった時、英語が伸び始めました。

僕は中1からグノに通っていたので、英文法を例文としてストックできていたのも大きかったと思います。知識として「こういう構文がある」ではなく、「そういう意味だよ」という例文がいつの間にかストックされていました。そういう根本的な力が中学時代に身につけていて、それが高3で一気に花開いたのかもしれない。

竹内: グノの音読は授業とセットです。授業で理解していない英文を音読しても意味がないと思います。

特に高3のサミングアップ*1の音読は効果が抜群でした。

川島: 音読は効率良くインプットもアウトプットもできる勉強法だと思います。音読は口を動かしますし、目で読み、自分の声を耳で聞きます。他人に伝えるように読んでみると、どこを強調するかなども分かって、ライティングにも良い影響があります。どんどん英語を使えるようになっていくのを実感できます。

グノではいろいろな分野の英文を扱うので、飽きることなく毎週音読を楽しめました。

小澤: 音読と黙読は違います。黙読だと、ちょっと分からないところがあっても飛ばし読みしてしまいます。

音読だと飛ばし読みができません。少しでも引っかかるとすぐに気づけます。効率良く、緻密に復習ができました。

高3の先生が「英語は身体的なトレーニングだ」とおっしゃっていましたが、高1の頃の私は全然口が回っていませんでした。音読で口が回るようになってから、体も反応するようになりました。それで英語の力が大きく伸びたと思います。

中橋: 「音読だけで伸びるのか?」と思いますが、1日10分ネイティブのスピードで英文を読むことで、本当に鍛えられます。GSL*2くらいのスピード*2で読むと、英文をいちいち日本語に訳している時間がなくて、英語を英語のまま前からどんどん解釈していく必要があります。

毎日やっているうちにいつの間にか、「英語の頭の処理ってこんな感じかな?」という感覚が身につきました。自分の中に日本語脳と英語脳のふたつが搭載されていく感覚で、英語を読む時には自然と英語脳に切り替わって、日本語に訳していくのではなく、英語のまま意味がとれるようになりました。

でも、1日10分毎日音読するのは結構大変で、自分自身でも「偉いな」と改めて思います。授業中に先生が毎回のように言うので、「めんどくさいな」と思う時でもその言葉を思い出して続けました。そうしたら、いつの間にか習慣になっていました。

英語の教材

小澤: グノは教材も特徴的です。いろんなジャンルの英文を読めるのが楽しみで、私は特に、科学の話題が好きでした。

時には内容が難しく、演習の段階では全然理解できないと感じるものもありました。ところが、博識な先生の解説を聞くといつもすっきり理解できました。英語で教養を深め



中橋 然さん (理I・筑波大学附属)

たり広げたりできるという面でも楽しく授業を受けられました。

川島: 直前期には、それまで授業で扱った英文を復習でもう一回読み直しましたが、その時でも内容が面白く、英語の勉強という名目でしたが、読み物としても楽しませてもらっていました。大学受験だけを意識したものでないからこそ、興味深く読めたのだと思います。

中橋: 僕も英文の内容自体を楽しめました。でも、それがいつの間にか東大受験の対策にもなっている感じでした。

竹内: グラマーブック*3もすごくまとまっていて便利でした。他の教材や文法書だと分厚さにやる気が失せますが、グノのグラマーブックは程良くまとめられています。英文法がスカスカだった僕は、量が少ないことに励まされて、「やるぞ」という気持ちで取り組みました。

中橋: グノは、授業と家での勉強が有機的にリンクしているのも特長です。授業で完全に理解して家での復習で定着させるというスタイルが、扱った教材を自分のものにしていきやすかったです。

他塾の英語を見ていると、宿題が大量にあるなど1週間に勉強する量は一見すると多いです。でも、英語の試験の点数に関してはサッカー一部で僕が一番だったので、量をこなすよりもグノのやり方のほうが良いなと思いました。

グノは1回の授業で得るものが多く、定着度も高いから、それがアドバンテージになっていたのだと思います。授業で扱う教材を100%身につけられるのがグノの良いところです。

グノーブルの数学

中橋: 理系数学を教わった先生の頭の良さを、僕はずっと尊敬していました。

数学では天才の発想が大事といわれることもありますが、「どうやってたら思いつくの?」という発想を先生はいつも、見事に僕の手の届く範囲にして解説してくださいました。先生が天才の発想をかみ砕いて言語化して「こういうモチベーションがあるから、こういう変形ができたり、こういう発想が生まれたりするよね」と解説してくださいました。僕も徐々にできるようになりました。

1年前には、「こんなできない」という絶望感に打ちひしがれたもの



小澤 桃子さん (理I・桜蔭)

でも、「到達可能な範囲内だ」と思えるものになりました。

それから、セルフチェックシート*。最初は「めんどくさい」と思いましたが、セルフチェックシートがあると、誤答分析をせざるを得なくなります。自分の思考を言語化したり、間違えた理由を考えたりできるので、「これができなかったんだ」という気づきを次に活かせました。

解けた問題についても、セルフチェックシートで分析しているうちに、「出題者はこれを聞きたいんだ」と考えられるようになりました。

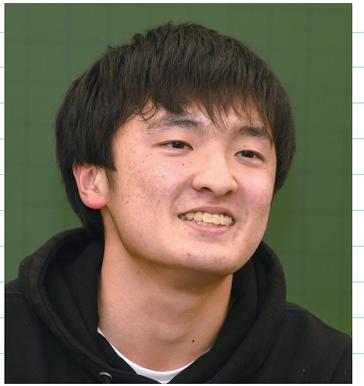
川島: 僕もセルフチェックシートはかなり書きました。過去問を解く時も、自主的にセルフチェックシートのようなものを書くようにして、自分が間違えたところを意識しました。そのおかげで、同じミスを繰り返すことが減っていきました。

それから僕は、数Ⅲの先生が手書きでみっちり書いてくれた解説を自分のものにしてしまおうと思っていました。問題を振り返る時の道筋や考え方がまとめてあったり、ある問題が他の問題につながっていく要素を抜き出してくださったり、そういうのを読んで数学への取り組み方が変わりました。

小澤: 先生の手書きプリントは本当に多かったのですが、整理整頓が苦手な私でも、グノのプリントだけは整理したいと思えるものでした。

私は「数学が得意だ」と考えていましたが、感覚的なところがあって無意識的に解くことが多かったです。でも、グノの数学は、頭の中でフローチャートを進んでいく感じで、論理的な授業でした。私は突っ走ることがありましたが、冷静に考えられるようになって、ミスがすごく減りました。

セルフチェックシートは、「できた、できなかった」で終わらせない



川島 遼也さん (理I・筑波大学附属駒場)

のが良い点です。思考を言語化するので、ミスの原因など、無意識を意識に変えられました。自分が考えたことはもちろん、考えることができていなかったことも明確になりました。

グノーブルの国語

小澤: 中3から国語の授業を受けていました。

古文でも現代文でも、先生は身近な例とかご自身の体験談とかを交えて説明してくださいました。「雑談かな?」と思って楽しく聞いていたものが突然目の前の文章と関連づけられて、それがとても面白かったです。

先生の話をしているうちに、自分がすでに持っていた知識と、新たな知識が体系的につながっていくので、国語の復習まで手が回らない私にとっては、授業内で完結するグノの国語はとても効率的でした。

川島: 高3で東大国語を受けました。「理系なので国語は必要ないかな?」と思いましたが、1週間に1回記述問題を解く習慣ができて、本番でも国語に自信を持ってました。

国語は自分で勉強しづらい科目ですが、授業を受けることで自分の勉強のサイクルに国語を組み入れられて、国語も安心感のある状態で受験できました。

*1 SUMMING-UP LABORATORY: 高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。
*2 GSLのスピード: SUMMING-UP LABORATORYは180wpm(words per minute: 1分当たりの単語数)程度で、CNNニュースとほぼ同じスピード。2022年度共通テストのリスニングは140wpm程度。
*3 Grammar Book: グノーブルの文法書。前出のSentences for Workoutも収録されているので、受験学年になってからでも文法理解を再確認しながら身につけられます。

*セルフチェックシート: 高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

16期生 合格者インタビュー



竹内 紘さん (理I・筑波大学附属駒場)

ついて、そこからさらに先生の話に真剣に耳を傾けるようになりました。

グノーブルの生物

小澤：生物は高1と高3の時に通っていましたが、生物がとても好きになる授業でした。

高1の時は受験が差し迫っていないので、テキストの内容が高3よりも詳しく書かれていました。高3の授業は問題演習がメインでしたが、私は高3の時も高1のテキストをずっと読んでいました。読み物としてとても面白いものだったからです。

生物の先生からは、生物がめちゃくちゃ好きなんだということがこちらにもひしひしと伝わってきました。ご自身が撮ってきた植物の写真や博物館の展示物の写真をスライドで見せてくれたり、自分の専門のちょっと詳しい話もしてくれたりして、受験対策だけでなく、「大学以降で私は何をしたいのか？」を考える上でも勉強になりました。

グノーブルの化学

川島：化学もグノの授業らしく、暗記中心ではなく、公式や原理を考えさせてくれることが多い授業でした。物質の構造、相互作用や反応について、「こうだからこういう原理があるよ」とか「だからこういう式が成り立つ」という先生の深い解説が聞けて、根本から考える力が身につきました。

グノーブルの物理

小澤：以前の私は「物理は公式を暗記して数学を使って計算するもの」と誤解していました。ところが、グノの物理は、受験問題を解けるようにすることよりも、現象の理解に重きを置いていました。

高2の1年間の授業は、問題を解くというよりも公式の導出や実験の解説が中心で、ノートを取り続けながらも「これで受験問題は解けるようになるのか」という疑問がありました。

高3の春になって、2日間集中して物理の問題に向かったことがあって、その時に、グノの方針の正しさが分かりました。高2の1年間で取ったノートがめちゃくちゃ役立ったんです。「現象の理解が大切」と気

先生は真冬でも汗だくになって授業をしてくれました。

中楯：僕はそういう先生の数学オタク感がとても好きでした。先生を見ていると元気が出て、「もうちょっと頑張ろう」と思えました。

グノの先生には、どの先生にも熱意があって、その熱意が僕にも浸透して「復習も頑張ろう」と背中を押してくれました。

竹内：グノの英文の教材は本当に秀逸でしたが、僕たちが楽しめる教材をあんなにたくさん用意するのは、先生に熱意がなければ絶対できないことだと思います。

後輩へのアドバイス

小澤：私は先生にめちゃくちゃ質問して、分からないことを全部聞いていました。質問も、相談も、添削の依頼もグノの先生は快く受けてくださいます。後輩の皆さんもうまく活用してください。

川島：「グノの英語は、直前期に1日30分くらいGSLを使って復習するくらいで良くて、他の時間は他の教科に回せるので強い」と先生がおっしゃっていました。これは本当にそのとおりでした。グノや先生方を信じてついていけば大丈夫です。

竹内：僕もグノとグノの先生の言う

グノーブルの先生

小澤：どの先生からも担当教科への愛をすごく感じました。受験範囲でなくても教えてくださって、「受験に出るから教えてあげるよ」ではなく、「面白い話だから聞いてよ」という雰囲気があって、だから私はグノが好きでした。

実は、以前の私はGSLを全然やっていませんでしたが、英語の先生が根気強くGSLの良さを授業の時間を使って語ってくださったので、私も根負けしました(笑)。高3のゴールデンウィークから毎日やるようになって、英語を大きく伸ばせました。先生の熱意は私にとって本当に大事でした。

川島：熱意という意味では、数学の



中楯 然さん (理I・筑波大学附属)

ことをとにかく信じてほしいと思います。特に先生が口を酸っぱくして勧めてくださる音読は絶対にしたほうが良いです。間違いなく、英語の力が伸びます。

中楯：僕も、音読やGSLは四の五の言わずにやってみる姿勢が大事だ

と思います。グノを信じ切ることは大切です。

でも、一方で、自分に足りないものを考えて勉強することも必要です。それから、グノの宿題は一見量が

少ないように見えますが、復習を考えると絶対量は決して少なくありま

せん。授業を受けただけでやった気になっていると、せつかくの教材が活かせません。「絶対にやり抜く」という意気込みで、教材を完璧に自分のものにするつもりで復習してください。

中学受験 グノーブル 大学受験 グノーブル 東大

中学受験グノーブルを通じて、学ぶことの基礎体力を身につけられました！

2022年度入試で、筑波大学附属高校から東京大学理科一類に合格した中楯然君と、中学受験グノーブル自由が丘校通塾時代に国語の指導を担当していた兵頭徹治先生との対談です。

兵頭：東京大学合格おめでとうございます。中楯君が中学受験グノーブル自由が丘校を卒業してもう6年も経つんですね。

中楯：ありがとうございます。その6年間、まるまる大学受験グノーブルに通ってました。

兵頭：大学受験グノーブルでは何を受講していたのですか。

中楯：英語と数学です。

兵頭：大学受験の勉強は大変でしたか。

中楯：もちろん驚くような難問に出合って打ちひしがれるような時もありましたが、グノーブルの授業は本当に楽しくて毎週ウキウキしながら受けていました。先生方の熱意がすごくて、その熱意が僕にも浸透して「もっと頑張ろう！」と思えたのも大きかったです。

兵頭：小学校時代はサッカー部で忙しいそうでしたが、中高も部活はサッカー部だったんですか。

中楯：そうです。そのためどうしても塾に行けない日もあったのですが、欠席した授業の振替や映像でも授業を視聴できたので助かりました。

筑附小に通っていて中学受験をしない自分が中学受験グノーブルを選んだのも、5年生時は週2日の通塾でサッカーと両立できそうだったのがきっかけでした。そういう意味でもグノーブルにはずっと学校生活を応援してもらってきたと思っています。

兵頭：中楯君は最初から内部進学の子予定でしたが、6年生の最後までしっかり通ってくれましたよね。小学校当時のグノーブルでの勉強の印象はどうだったのでしょうか。

中楯：当時の勉強も楽しみながら考えることができていたので、単純に頭が良くなっていくなあ、という思いを抱いていました。自分はよく発言するタイプだったこともあって、活発なグノーブルの授業と相性が良かったと思います。先生との距離も近く、疑問に思ったことをその場で聞ける雰囲気も大好きでした。

兵頭：周りは受験する友達ばかりでしたが、その点で苦勞はありましたか。

中楯：受験をした仲間に対しては、自分がしなかったことを成し遂げたという点で尊敬のような思いが今でもあります。また、受験する友人たちと切磋琢磨したことによって、今の自分にあぐらをかかず、学習にはどん欲さやハンガリーさも大切だということに気づくことができました。今思うと、こうした小学校時代の学習経験を通して、学ぶことの基礎体力のようなものを身につけられたと感じています。

兵頭：中学受験グノーブルでの経験がその後の大学受験での学びに活かされたのなら、本当にうれしく思います。この先の中楯君の活躍に期待しています。ぜひこれからも頑張ってください。

東京大学
理系
Part 2

- 澤田 恵里さん (理I・桜蔭)
- 田中 陸登さん (理I・早稲田)
- 中村 太陽さん (理II・駒場東邦)
- 堀尾 日菜さん (理III・桜蔭)
- 山田 哲士さん (理I・駒場東邦)

数学の授業ではパターンに応じた解き方を、押し付ける感じではなく、「こういう考え方がもとになって解くんだよ」という形で授業中にサラッと大切なことを教えてください。

グノの授業を受けていたので、いつも根本からの発想ができるようになり、自然と解けるようになっていきました。数学の指導方針も本当に素晴らしいと思います。

堀尾 日菜さん (理III・桜蔭)



澤田 恵里さん (理I・桜蔭)

しています。

グノーブル入塾のきっかけ

堀尾: 中学1年の夏に英語を受講しました。他塾は宿題が多く、どんどん早く進んでいくのが合いませんでした。一方、グノは宿題が多くなく、それでも大学受験を視野に入れた勉強もできるので、それが決め手になりました。

山田: 中学の頃に勉強不足で不安を感じていて、中3最後に「塾に入ろう」と思いました。

英語が苦手だったので、基礎の文法から教えてくれて、周りの評価も高かったグノに興味を持ちました。

EGGS*1という講座に入ってみたら、英文法が頭の中にきれいに整理できたので、そのまま継続しました。

中村: 「グノは英語がすごい」という評判は以前から聞いていましたし、親からの勧めもありました。

中学の時に英語が不得意になって

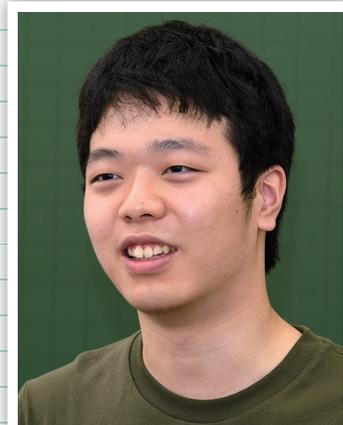
しまったので、実際に身近にいる友人や先輩がグノに入って成績を伸ばしていたのを見て、「僕も入ろう」と思いました。高1の4月に入塾を決めました。

田中: 僕も中学生の頃に勉強をサボってしまい、成績がよろしくありませんでした。

高1の春にいろんな塾を親が調べてきました。いろいろ体験してみるつもりで、最初に行ったのがグノのフレッシュャーズ講座*2で、英語と数学と古文を取りました。比較的少人数のクラスで、グノの雰囲気も気に入ったので、「ここにしよう」と思って決めました。結局、他塾の体験には行きませんでした。

澤田: 高1まで他塾の英語に通っていましたが、宿題が多いのでやめてしまい、そこからは塾に通っていませんでした。英語は得意なほうだったので、宿題が少ない塾で「英語は忘れない程度でいい」と思って高2の冬にグノに入りました。

でも、実際は「忘れない程度」以上



田中 陸登さん (理I・早稲田)

の大きなものをグノで得られました。

グノーブルに通う時の気持ち

澤田: 授業中の演習やその場での添削に意欲が持てたので、「今日も頑張ろう」という意気込みがありました。答案が返される時はドキドキでしたが、自分の成長を毎週確認できるのは良かったです。

田中: グノに向かう時には、「何を教えてくれるんだろう?」と楽しみでした。

暗記が苦手な僕は、暗記は最小限で、理論を使って応用していくグノの勉強法がとても気に入っていました。

「勉強はこんなに楽しいんだ」というのをグノで教えてもらえました。小学生の時の塾とは違って、高校生になって通い出したグノには「大変だ」という印象はありませんでした。

気合を入れるというのともちょっと違って、いつも楽しいことに向かう気持ちでグノに通ってました。

中村: 同じ曜日に通う学校の友人も多くて、塾に行く時は僕も楽しかったです。

「いい点数をつけてもらいたい」とか、当てられたら「いい答えを言

いたい」という気合がありました。「学校の友人の前で間違えたら嫌だな」と思うこともありましたが、それでもグノに向かうのは楽しみでした。

山田: 僕も友達と通っていて、特に卓球部は人数が多くて、一緒に通う人がいっぱいいました。数学と英語に通っていて、どちらも楽しかったのですが、元々好きだったこともあって、数学がいつもとても楽しみでした。授業後は充足感も感じていました。

堀尾: 特に数学が「今日はどんな問題に出合えるかな?」と楽しみでした。授業後は「今日はここがダメだったな」と反省することも多かったですけど。

グノーブルの英語

堀尾: 入塾した頃は、学校のテストでも全然点数が取れていませんでした。その時期から考えると、よく伸びたと思います。

グノに入って少したったら、学校のテスト準備には単語をちょっと見ただけで何とかなるくらいに、英語の基本ができあがっていました。

グノの授業で教わったことをきちんとこなしていただけですが、英文を前から読む力が早いうちに身についたのがポイントだと思います。

山田: 中学の頃の学校での成績は下から数えて4分の1くらいの成績でした。グノに入って、高1、高2になると、上から数えて6分の1から7分の1くらいにまでどんどん伸びていきました。

僕もグノから言われたとおりに音読などの復習をしていただけで、勝手に模試の点数も伸びていくのを実感しました。

中村: 僕も伸びました。先生が授業中に背景知識を教えてくださいました。

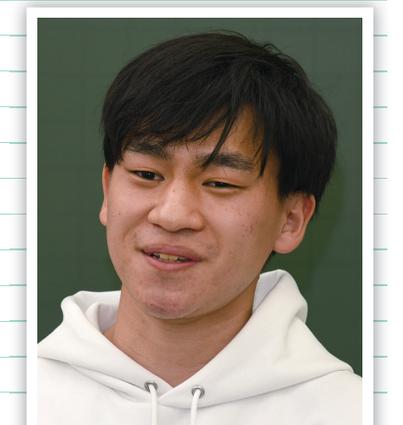
大きかったです。以前は英文を読んでも、表面的に日本語に訳していただけていたのですが、それが、「英文の内容を生き生きと読む」という感覚が分かるようになって、読み方が大きく変わりました。

田中: グノでは「前から読む」と「英語を英語のまま読む」を強調されますが、実は、「英語を英語のまま読む」を自分でもできていると思えたのは入試直前の12月でした。それまでも「前から読む」はできていたのですが、ちょくちょく日本語が入っていました。

でも、「英語を英語のまま読む」を理解した12月頃から、本当に英文の見え方が変わりました。後輩には「英語を英語のまま読む」を意識してほしいと思います。

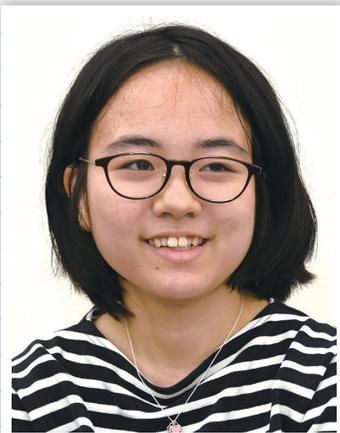
「前から読む」だけだと、前から意味で区切っていくって、その後に区切った意味をわざわざ日本語に訳して解釈することになりがちです。返り読みはしていませんが、「英語を英語のまま読む」わけではありません。

一方、「英語を英語のまま読む」を意識した時、まずは「日本語を思い浮かべるのをやめよう」と思いました。



中村 太陽さん (理II・駒場東邦)

*1 English Grammar Green Session for newcomers : 中3冬期~新高3冬期の季節講習で行われる、基礎力が不足している方を対象にした英文法基礎講座。4回の授業と音声教材化された365本の基本例文のトレーニングで基礎力を固めれば、その後の「伸び」が大きく変わります。
*2 フレッシュャーズ講座 : 新高1対象の春期講習。



堀尾 日菜さん (理Ⅲ・桜蔭)

で様々な考え方や話の展開に対応できるようにになりました。

田中: グノの英語教材は、ありきたりな受験英語や過去問にとらわれていません。世界で今起こっている時事的なトピックを含め、興味深いテーマの英文ばかりでした。

文理を問わずいろいろなジャンルにわたる教材を、英語の知識の解説はもちろん、英文の背景的なことまで面白く解説してくださる先生方の教養の深さと熱意に、いつも引き込まれてしまう授業でした。どの先生も心から尊敬できました。

澤田: グノの教材は、量も質も妥協していないレベルでした。内容が面白く、自分の教養を試される英文ばかりでした。英語を学んでいるというよりも、英語でその分野について学んでいる感じがありました。

音読の効果

澤田: 音読は他塾でもよく言われます。でも、グノの音読は気持ちを込めて読むことを大切にるので、これは新しい考え方だと思いました。一つひとつの英文を、自分が書いたかのように、強弱をつけながら読むのが新鮮でしたし、本当に楽しく読めました。

田中: 音読は英語を英語のまま読むことにつながります。日本語を介して書かれていることをイメージしていると生き生きと読むことはできません。

英語で書かれている概念や気持ちを直接イメージしながら音読して初めて生き生きと読めます。そういう練習が英語学習の助けになります。ただ英語を口に出しても練習にはなりません。

中村: 僕が音読を本当に毎日やるようになったのは高3からです。

部屋でやっていた音読を、お風呂

場での音読に変えて、シャワーヘッドをマイクに見立てて雰囲気を出しながら音読していたら、スピーチ感が出て「楽しい」と思えるようになりました。

そこからまた成績が伸びました。GSL*と音読を組み合わせることでリスニング力も発音も向上します。

山田: 黙読だどうしても戻れてしまいます。音読だと強制的に前から読むことになります。

それから、発音で詰まった時に調べて正しい発音どおりに読むと、それが頭に残って、リスニング力も上がります。

授業で解説された英文を理解した状態で音読するので、授業でやった知識を定着させる復習としても有効です。

堀尾: 「どこで意味が切れるか？」を理解できないとうまく音読できません。音読で詰まった時は「ここが分かっていないな」と分かるので、自分の理解度を測るという点でも音読は優れています。私は先生の解説をもとにもう一度詰まった箇所を黙読して、その後そこを何度も音読することで理解を深めていました。



山田 哲士さん (理Ⅰ・駒場東邦)

た。日本語を一切使わずに英語のイメージだけで読むようにしました。最初のうちは頭が痛くなりましたが、そういうのを続けているうちに「見え方が変わったな」と思う瞬間がありました。

この時の助けになったのは音読でした。

澤田: 私も英語の力をグノで大きく伸ばせました。グノで用意される英文が興味を持てるものばかりだったのが良かったです。

英語の教材

澤田: 例えば、検定教科書の英文は、正直なところ、「何度も読もう」という気持ちになれるほどには興味を持ってません。

グノで用意されている英文は、2回目、3回目に読んでも面白い英文ばかりでした。繰り返して読むと新たなことに気づいたり、より深い意味が見えてきたりする奥行きのあるものもありました。音読する時も気持ちを込めて読めました。

堀尾: グノではかなり大量の英文に出合いましたが、どの教材の質も良かったと思います。

いろいろな著者の英文を読むこと



澤田 恵里さん (理Ⅰ・桜蔭)

メージを持っている地域のことを英語の勉強を通して学べました。

堀尾: 私たちは普段キリスト教や受験論などを意識しませんが、グノで学んでいると、自然とそういうのを意識するようになります。言語によって前提とする知識が異なることを実感しました。

中村: 僕も、グノの英語を通して、今まで特に意識したことなかった言語の特質を意識できるようになりました。こういう発想は、今後どの言語を学ぶ上でも役立つと思います。

英単語の学習

田中: 単語帳の暗記が必要なかったことも大きかったです。

グノの教材を使って、グノで教えてもらった語源や語法でイメージをつかんでいくので、最後まで単語帳はいりませんでした。

今ではむしろ「単語帳は日本語と英語を一对一で結びつけてしまうので良くないのではないか？」と思っているレベルです。英単語と日本語の単語の、概念がぴったり一致することはほとんどないと、先生もよくおっしゃっていましたが、そのとおりだと思います。

グノの教材を使うグノのやり方が単語帳よりも断然効果的でした。

山田: 以前国語の文章で「言語によって世界の切り取り方が違う」というのを読みました。

英語と日本語では世界の切り取り方がまるで異なると思います。グノで語源から英単語を学ぶことで、この切り取り方の違いがより明確に分かりました。

田中: グノで語源や語根の説明を聞いていて、僕も、「言葉はその文化圏に根差している」「言葉は思考や感情に大きく影響する」と思いました。

キリスト教的な発想など、自分たちの生活している文化圏とは違うイ

グノーブルの数学

田中: グノは英語が有名で、「独自に練られた指導法がある」といわれています。

実は数学も他塾とは全然違うと思います。問題をバンバン解かせてパターンを覚えさせるやり方ではありません。

数学も根本の考え方から解説されて、受験の数学が頭の中に体系化されていくように指導されます。それを演習で応用していくという数学の解き方が僕の好みでした。最小限の演習でも応用力のつくグノの数学は、全受験生にとってすごくいいものだと思います。

算数や中学数学は解きまくった経験値がものをいいます。一方、高校数学はそれとは違います。高校数学でも初等幾何のように経験がものをいふ分野もありますが、ほとんどの分野はグノで教えてもらえる理論を軸にするやり方が王道だと主張したいです。

山田: グノでは、「どうしてその解法に至るのか？」とか「どの解法が有利なのか？」を説明してくださるので、応用する力が身につきます。

グノの数学を受けるようになってから、一問一問について「次の問題

にどうつなげるか？」を意識できるようになったので、それが大きかったと思います。

堀尾: パターンに応じた解き方を、押し付ける感じではなく、「こういう考え方がもたくなって解くんだよ」という形で授業中にサラッと大切なことを教えてください。

私は数学がそんなに得意ではありませんでしたが、グノの授業を受けていたので、いつも根本からの発想ができるようになり、自然と解けるようになっていきました。

グノは、数学の指導方針も本当に素晴らしいと思います。

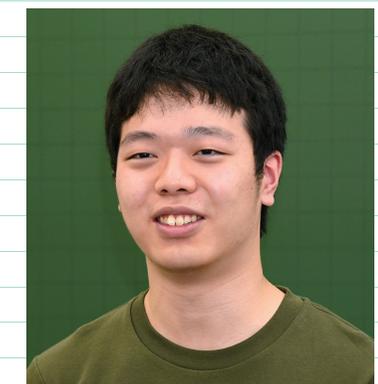
田中: それから、セルフチェックシート*は、演繹的な発想を鍛えるのにとっても役立ちました。

野性的な勘に従って解いていたのでは、理論的な思考方法が頭の中に体系化されることがありません。成績も安定しなくなってしまいました。

そういう状態からの脱却に、「自分で何をやっていったのか？」をいつも振り返ることのできるセルフチェックシートがとても役立ちました。

セルフチェックシートのおかげで凡ミスも減らせました。「自分はこういうミスをしやすいんだ」と理解できて改善できました。

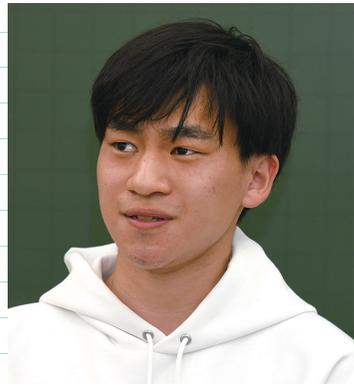
山田: 自分がやっていることをもう一つ上から見るとメタ認知をやりやす



田中 陸登さん (理Ⅰ・早稲田)

* Gnoble Sound Laboratory : 中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

*セルフチェックシート : 高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。



中村 太陽さん (理Ⅱ・駒場東邦)

が、先生が面白いエピソードや具体例に置き換えてくださると、難解な文章が、「それはこういうことだったんだ」「筆者はこういうことを言いたかったんだ」と身近なものに変わって、本当に魔法のような授業でした。

東大国語という講座だけあって東大対策に集中していたので、「こういう問題が出た時は、こういうことを考えて、こういうことを書けば点数がもらえる」という戦略的な話もしていただきました。

いのがセルフチェックシートです。田中君の言うようにミスがなくなる効果もあります。

それから、グノのテスト演習では時間配分などをメモっていく欄があったので、「自分がどこに何分かったのか?」「どんなもったいないことをしたのか?」などが分かり、「次はこういうふうにしてしよう」と対策を練られました。苦手分野をあぶり出すのにも役立ちました。
堀尾: 確かにセルフチェックシートのおかげで、自分がどこでミスしやすいのかが可視化されました。自分がどういう考え方をするのも意識化できました。

解いた問題をいつも振り返る習慣は、新しい問題に向かう時に応用ができて役立ちます。

澤田: 私はグノで数学を受講していませんでしたが、受験期にはグノ生に数Ⅲを仕上げる問題集を配付していただけて、これがとても役に立ちました。直前期にはこれを1日数回ずつ解いていき、計算力の底上げにつながりました。

グノーブルの国語

田中: 高3で受けた東大国語が本当に良かったです。

現代文では難解な文章を扱います



山田 哲士さん (理Ⅰ・駒場東邦)

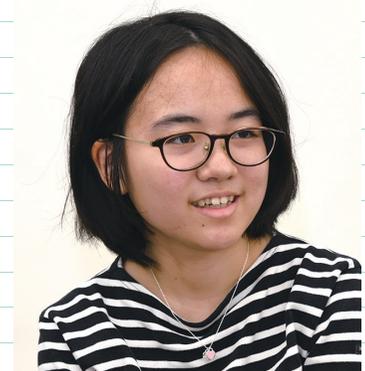
授業中のトークやエピソードが面白くて、受験勉強の息抜きになるレベルでの楽しさもありました。

堀尾: 私は小論文を受けましたが、「こういう型を使えば書ける」というのをまず提示されたので、何も分からない状態から、すぐに一定のレベルの書き方が分かるようになりました。

試験直前に小論文の練習をした時も、授業からプランクはありましたが、「こういうふうには書けば大丈夫だろう」と自信を持つことができました。テキストには参考になる具体例も書かれていて役立ちました。

後輩へのアドバイス

澤田: グノの先生に対して、私は本



堀尾 日菜さん (理Ⅲ・桜蔭)

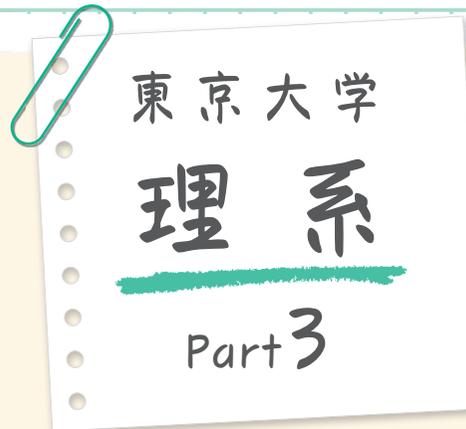
当に「この先生についていけば大丈夫」と思えました。先生を信頼してやっつけば結果に結びつきます。

田中: 英語、数学、国語。どの科目も充実していて主体的に学べる塾でした。グノを選んだ時点で「東大受験に勝てる」と思います。

勉強が好きになる機会をグノは必ず与えてくれるので、それを活かしてほしいです。自分とグノを信頼してどっぷりグノメソッドに浸かってくれれば良いと思います。

中村: 受験に関しては、正しい努力をすれば必ず結果が出ます。自分も地頭が良かったわけではありませんが、グノの授業を受けてしっかり理解して音読するというサイクルを繰り返すことで結果が出ました。グノを信じてコツコツ努力してください。
山田: 質問したら気軽に答えてくださる先生ばかりなので、しっかり活用してほしいと思います。英語では授業で解説された英文を音読して復習したり、数学ではセルフチェックシートを利用してメタ認知に基づいた自己分析をしたりするといったグノの勉強を大事にしてください。

堀尾: 英語も数学も本当に素敵な授業と素晴らしい先生方がそろっています。そういうグノーブルの環境を大切にしながら、自分を信じて勉強していきましょう。



- 石田 稜馬さん (理Ⅰ・芝)
- 佐々木 慎太郎さん (理Ⅱ・暁星)
- 千原 大知さん (理Ⅱ・麻布)
- 藤掛 沙耶さん (理Ⅱ・女子学院)
- 藤本 悠佑さん (理Ⅰ・麻布)
- 山本 英昂さん (理Ⅰ・筑波大学附属駒場)

高1で古文、高2で現代文、冬期講習で漢文、高3は東大国語を取りました。現代文は教えてもらわないと勉強の難しい科目なので助かりました。先生が身近な話から文章の背景を解説してくださったので、文章理解に必要な予備知識がどんどん蓄積されて、難解な文章でも全体を捉えて読めるようになりました。

山本 英昂さん (理Ⅰ・筑波大学附属駒場)

グノーブル入塾のきっかけ

山本: 中1のスタートダッシュ講座*1の英語からです。

姉が通っていて、「英語の力がつくよ」と勧められたのがきっかけです。「いい先生ばかりだし授業のレベルが高い」という話も聞いていました。中学3年間は英語だけで、数学、物理、化学、国語は高校になってからです。

藤本: 高1の夏に、初めは数学だけで入りました。

数学が得意だったので、さらに伸ばしたいと思っていたところ、同じ学校のハンドボール部の同輩がどんな塾かな?と思って入りました。

数学の授業が気に入ったので、英語と化学も受講しました。

藤掛: 私は新高1のフレッシュアズ講座*2から入りました。周りの友人たちの多くが、他の部活の子も含めて、高1になる時に塾に入っていたのがきっかけです。

母が学校のお母さん同士が集まる

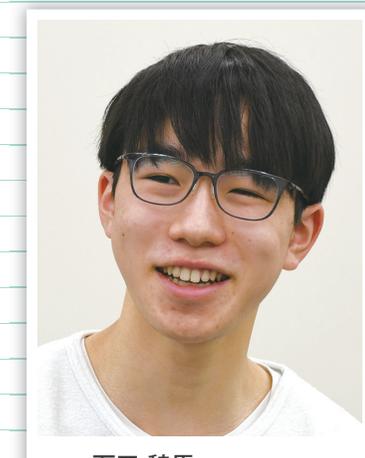
会で「グノーブルの英語は有名でいいよ」という情報を聞いてきました。「それなら講習に行ってみよう」ということで講習に参加して、授業の進め方が気に入りました。

千原: 中学受験グノーブル(自由が丘校)でお世話になっていたため、英語の評判がいいのは当時から知っていました。中学受験の頃から、先生が一人ひとりの生徒をしっかりと見てくださっていたのでグノーブルは気に入っていました。

それで、中3の夏からはグノリンク*3に通って、苦手な二次関数を教わりました。大学受験グノーブルには、中3の冬期講習で英語と数学を同時に受けてから入りました。

佐々木: 僕は高1のフレッシュアズ講座からです。「高校生になったし、塾に行こうかな」と思い、文系でも理系でも大事な英語の塾を探しました。

母が「グノーブルが有名だ」と勧めてくれましたし、英語ができる友達グノに通っていたのもあって、



石田 稜馬さん (理Ⅰ・芝)

*1 スタートダッシュ講座: 新中1対象の講座(2~3月に開講)。
*2 フレッシュアズ講座: 新高1対象の春期講習。
*3 グノリンク: 個別指導グノリンク。対象は小学生から大学受験生まで。難関中、医学部、難関大学受験に向けた学習指導だけでなく、内部進学を目指す方も全面的にサポートしています。



佐々木 慎太郎さん (理II・晩星)

間違いはしたくないな」と思っていたのですが、「実は恥ずかしくない」と段々分かってきて、しばらくすると、授業が終わったあとの達成感のほうに勝って、間違えることの恥ずかしさはどうでも良くなってしまいました。

それからは本当に楽しく通っていました。

藤掛：高3になってからの英語は、読解と文法・作文を同じ日に取っていたので、学校が終わってから、もうひとつ別の学校に通っているくらいの気持ちでした。朝からのことを考えると本当に長時間だったし、特に金曜日の授業を取っていたので、授業が終わったあと、1週間の達成感がすごかったです。

帰り道で友達と「頑張ったね」と

話すのが楽しかったです。英語の力が

ついているのが実感できたからこそ頑張れたし、授業前には毎回気合

が入りました。

山本：グノの授業では毎週、その場で担当の先生の添削を受けられるので、「先週より何とかいい点を取れるようにしよう」と思いながら通っていました。

石田：高1でグノに入って、その直後の模試で良い点数を取れて「めちゃ伸びたな」と思いました。

そこからずっとグノの復習をして

いたら、さらに伸びました。ポイントは音読です。音読を始めてから、英語の成績が大きく変わりました。

とにかく英語については、グノに入ってからずっと得意だという意識を持っていました。

佐々木：英語の伸びで効果的だったのは、僕の場合もやはり音読でした。

それ以外にも、グノの授業の充実

が挙げられます。

毎週授業で、読みがいのある、難

度が高く興味深い英文に集中して

取り組み、すぐに解説を受けて深い

ところまで理解できます。そのサイ

クルだけでも英語力を上げられます。

他の塾は授業内での演習よりも、

宿題にゆっくり取り組みがちです。

それに比べてグノは授業中に集中して

読めるので良い影響がありました。

千原：元々読むのがとても遅かった

のですが、速読力が必要な東大受験

でも心配せずにすむくらいに速く

なったのは大きかったです。

それから、グノは語源で単語を解

説してくださるのも良かったです。

単語帳を覚えるのが苦手で、最後ま

で単語帳をほとんどやりませんでした

が、入試で分からない単語がほぼ

ないというくらいまで語彙を増やせ

ました。

藤本：グノの授業は演習をしている

時も、先生とのやりとりで進む解説

の時も集中力が途切れません。

そこがポイントだと思います。英語

の力はかなり伸ばせました。

藤掛：私は高3の春に他の科目に課

題を抱えていて、そちらを優先して

受験勉強を進めていました。そのせ

いで英語の成績が下がってしまう経

験もしました。

でも、共通テストが終わったあと

の1か月で、高3で扱ったグノの英

文を全部復習したら、直前期には英

語を以前よりさらに伸ばすことがで

きました。

石田：それから、添削を毎週しても

らえるのは大きかったです。

サミングアップ*の答案作りは本

当に悩みましたが、添削で一人ひと

りにコメントがもらえるのが参考にも、

励みにもなりました。コメント

の内容について、授業後にすぐ先生

に直接相談できるのも助かりました。

英作文の添削では、答案に対して

の先生のコメントを参考にしてい

く

グノーブルの授業

石田：とても楽しくて、気が乗らない経験も全くありませんでした。

特に英語は授業の内容が面白くて、

毎回通うのが楽しみでした。

佐々木：グノはアットホームな感じ

だったので、緊張感はありませんで

した。もちろん気が進まないことも

全然ありませんでした。

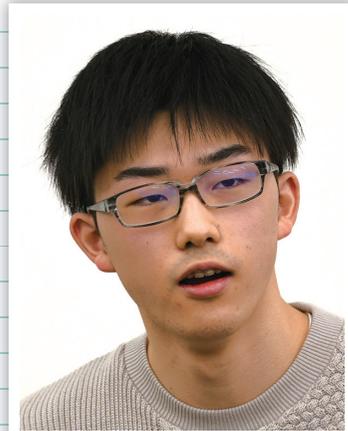
千原：僕も二人と同じで、英語も数

学も、最後まで楽しく通えました。

藤本：グノの授業は先生と生徒のや

りとりで進んでいきます。

最初は「当てられて、恥ずかしい



山本 英昂さん (理I・筑波大学附属駒場)

GSL を聞きながらシャドーイングしても道行く人にばれません。学校やグノの行き帰りでひたすらシャドーイングしていました。

英語の教材

佐々木: グノは英文の内容が面白く、人に思わず話したくなるようなネタが豊富でした。例えば、「自分が子育てをする時のためにぜひ覚えておきたい」と思える英文に出合ったり、著名な物理学者のエッセーを読んだ時、その人のお父さんについて「尊敬できる人だ」と思ったりしたのをよく覚えています。

藤本: 英文の内容はとても良かったと思います。いろいろな分野の「これは知っておくべき」という話題から、ちょっとマニアックな面白い話題までありました。

山本: グノでは英語を学びつつ、英文の内容からいろいろな分野の教養も自然に学べました。

藤掛: 環境問題や文化論といった現代的な話題からニュートンの古典的な話まで学べました。テレビのニュースを見ていた時、「どこかで聞き覚えがある」と思ってそれについてよくよく考えたら、実はグノで

読んだ英文だった、ということもありました。

グノーブルの数学

山本: 数学は先生がいっぱい手書きプリントを作ってくださいます。「本番で解答用紙に何を書けばいいか？」を具体的に学べ、とても参考になりました。

藤本: プリントには解答だけでなく、その問題のテーマや類題まで書かれているなど、応用できる情報が満載でした。

千原: グノのプリント教材は問題の選び方もすごく、「これをやれば全範囲大丈夫だ」という安心感が持てました。僕は数学で他に何もやらず、プリントをひたすら何周もやって力をつけました。

佐々木: 数Ⅲのプリントには定石アプローチが書かれていて、「なぜそれが定石なのか？」という理由がよく分かりました。そのおかげで、「同じ理由で今、この定石を使うんじゃないか？」と応用が利くようになって、基本的なスタンスが確立できました。

石田: 僕も、プリントに対して「これをやれば大丈夫」という気持ちを持っていましたので、何回も解きました。手書きのプリントからは先生の熱意が直接伝わってきて、「先生の熱に応えたい」という思いに駆られてやる気になりました。

それから、いろんな悩みや相談もメールで乗ってくださって、安心感を持って勉強ができました。

セルフチェックシート

石田: 他にもセルフチェックシート*が役立ちました。

ただ解いていくだけだと、それぞれの問題のどこが要点なのかをつか

みそこねます。解答を出すたびにセルフチェックシートを書いていると、「これが要点なのか」と分かってきます。

さらに、先生がコメントを書き足してくださるので参考になりました。
佐々木: 確かにセルフチェックシートは役に立ちました。

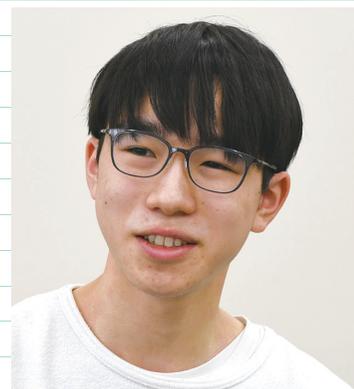
解いた問題について、「そもそもこの問題は、こういう条件を与えられて、こういう答えを出さなければならない」という状況分析と、それに基づいて「どういうアプローチをすべきか? その結果どうなったのか?」を言語化できました。

勘で解いていると訳が分からなくなってしまいますが、言語化することで解法などを頭に残せて、それが実戦でも役立ちました。

千原: セルフチェックシートではすぐに振り返るので、記憶に残っているうちに自分の思考のプロセスをまとめられます。

自分の考え方が分かっていると、同じ問題をもう一回解いた時にちゃんと記憶がよみがえります。セルフチェックシートを書いていないと、忘れてしまっていてまた同じミスをしてしまいます。

藤本: 数学において、解き終わったあとにすぐ自分が間違った点を書いておくことは大切です。それをあと



石田 稜馬さん (理I・芝)

*セルフチェックシート: 高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

から見直すことで、自分の間違いやすいポイントが頭に刻まれていきます。

しかも、セルフチェックシートは、書いたことに対する先生のコメントもあるので、その間違いを修正する方向性も明確になります。

山本: 僕は数学があまり得意ではなかったのですが、途中で力尽きるが多かったです。

セルフチェックシートには、「できたこと・力尽きたこと・できなかったこと・次にやらなければならないこと」を区別しながら書いていき、それが大事な指針になりました。

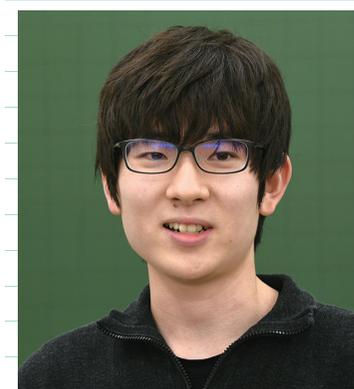
セルフチェックシートの考え方は応用範囲が広いので、似たようなことを他の教科でも自主的にやってみました。

グノーブルの物理

山本: 物理はαクラス*で、グノーブル独自の教材から物理を捉えて、それを踏まえて大学受験にアプローチする授業内容でした。

問題は見たことのない独創的なものばかりでした。計算が難しいとかではなく、本質を捉えないと解けない問題ばかりで、最初はびっくりしました。

でも、東大の過去問を解き始めた



佐々木 慎太郎さん (理II・暁星)

*グノーブルの物理はν(ニュー)とα(アルファ)に分けられている。ν(ニュー)クラスでは厳選された入試問題を掘り下げながら物理法則の理解を深めていく。α(アルファ)クラスでは歴史的な物理実験や科学者のたどった推論を元にしたオリジナルの教材を使い、科学者たちの研究を追体験しながら理解を深めていく。

時に、「グノの物理の方針は東大の問題への最適なアプローチ法だ」と気づきました。

ある物理現象と、それとは別物に見える物理現象が結局は同じで、共通の物理法則によっている、となるのが東大の問題です。難しそうに見える目に惑わされずに問題の本質を読み解く力をつけることが大切です。

グノの物理ではこのような問題への対応力が鍛えられました。

グノーブルの化学

山本: 化学の授業では、先生から知識の有無を聞かれることはありませんでした。

例えば、実験をする時のある手順に関して、「どうしてこういう手順はあるの?」と聞かれました。このような質問に対しては、化学全般を横断的に考えられないと答えられません。その場で考えて素早く答える力が、グノの授業中の先生とのやりとりで自然に身につきました。

授業中の質問と同じような問題が東大の化学では出題されます。大切な考え方の習慣が、授業に出席しているうちにいつの間にか鍛えられていく授業でした。

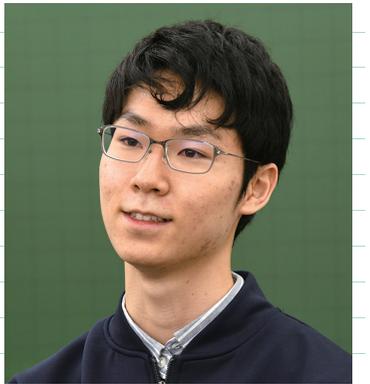
グノーブルの国語

山本: 授業がとても楽しくて、元々国語が好きだったのがさらに好きになりました。

高1で古文、高2で現代文、冬期講習で漢文、高3は東大国語を取りました。

古文は何も知らない状況から学びましたが、何回も全訳をやっていたら、古文を自力で読めるレベルに達しました。

古文の面白さに気づかせてもらったので、読みやすい古文の全集を自分で買って読むようになりました。



千原 大知さん (理II・麻布)

現代文は教えてもらわないと勉強の難しい科目なので助かりました。

まず、先生が身近な話から文章の背景を解説してくださったので、文章理解に必要な予備知識がどんどん蓄積されて、難解な文章でも全体を捉えて読めるようになりました。

設問に対しても、先生が用意してくださる問題に向き合っているうちに考える力が養われました。

授業を通して、「つまり、これが聞きたいんだな」と逆算して思考できるようになって、点が取りやすくなりました。

藤掛: 「駆け込み古文」という4日間の講習を受講しました。

私は学校の授業を真面目に受けていたので、学校のテストの成績は良かったのですが、模試では全く点数が取れないという状況から抜け出せていませんでした。

学校のテストは文章を丸暗記すれば解けるので、初見の文章を読む力は身につけませんでした。でも、グノの講座で、問題の解き方や考え方について、「こういうところを注意して読むと読みやすい」などと教えてもらえました。

講習は4日間でしたが、その後メールで「これから塾には行かないで東大を目指すのに、どう勉強をすればいいですか?」と質問した



藤掛 沙耶さん (理Ⅱ・女子学院)

きました。
安心して頼れる先生ばかりでした。

山本：生徒一人ひとりを人として尊重していただき、親身なアドバイスをくださいます。

授業の内容はもちろん素晴らしくて安心感がありました。

後輩へのアドバイス

藤本：グノの先生がくださるアドバイスや、先輩の体験談を自分で試してみ、早めに自分に合った勉強法を見つけてください。

山本：勉強法に加えて、自分で目標を立てることも大切です。

グノに通いながら、具体的な目標に向かってやるべきことを達成していくと、確実に力がつきます。

石田：グノの教材の質は間違いなく高いので、復習を欠かさず続けることが成長の鍵です。

佐々木：グノの復習をきちんとやってさえいれば、高いレベルまで引き上げてもらえます。

グノを信じて復習していれば大丈夫です。

千原：グノに通ってれば、他の教材は全くいりませんでした。グノの教材を完璧に自分のものにする事で合格につながります。

グノーブルの先生

石田：教えてくださった先生は皆さん親しみやすく、親身に相談に乗ってくださったので感謝しています。パワフルな先生の授業に引き込まれていました。

佐々木：先生が生徒全員の名前を覚えてくださるので、認識されている感じがして、支えていただいているのを実感していました。

千原：熱心な先生ばかりで本当にお世話になりました。少人数だったので、いつも先生とのつながりを感じながら授業を受けられたのは大きかったと思います。

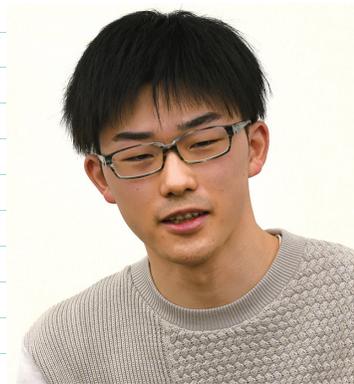
藤掛：高1から何人かの先生に習ってきましたが、どの先生も分かりやすいし、親身になってくださいました。

東大入試本番でとても緊張した時、ふとグノで習ったいろんな先生のことを頭に思い浮かべていたら、安心してきて落ち着けました。

藤本：どの先生も、授業を延長して熱心に教えてくださったので、仕事として授業をやっているというより、本当に僕たちの学力を伸ばしたいと思ってくださっているのが伝わって



藤本 悠佑さん (理Ⅰ・麻布)



山本 英昂さん (理Ⅰ・筑波大学附属駒場)

藤掛：諦めないことが大切です。

私も、グノのクラス分けテストでクラス落ちしてショックを受けました。本番も1日目で失敗して落ち込みました。それでも合格できました。

皆さんにも最後まで諦めないでほしいと思います。

グノなら絶対に大丈夫なので、グノの先生方を信じて頑張ってください。

国・私立大学

医学部

【座談会出席者】(五十音順、本文中敬称略)

Part 1



栗山 壮樹さん
(千葉大・海城)



田辺 優太さん
(東京医科歯科大・開成)

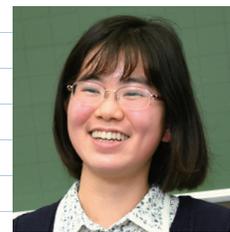


谷口 玲奈さん
(慶應義塾大・豊島岡女子学園)

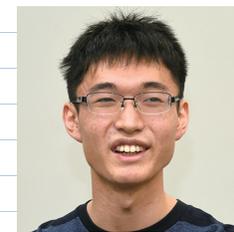


渡辺 士恩さん*
(筑波大・武蔵)

Part 2



青木 杏奈さん
(東北大 [AO 入試Ⅱ期]・白百合学園)



宮崎 克洋さん
(東北大・開成)

*入学後にメールをいただきました。「今日(4/22)筑波大学で合格者の点数の発表があり、合格者最高点で受かっていました。これも先生方の手厚い指導のおかげです。改めてありがとうございました」

国・私立大学 医学部

Part 1

栗山 壮樹さん (千葉大・海城)
 田辺 優太さん (東京医科歯科大・開成)
 谷口 玲奈さん (慶應義塾大・豊島岡女子学園)
 渡辺 士恩さん (筑波大・武蔵)

グノーブルの先生は「英単語の意味は単語帳や辞書が決めるものではなくて文脈が決めるものだ」とおっしゃっていましたが、そのとおりだと思います。すべての言語の学習において、さまざまな文献に触れてその中でどのように使われているのかを確認していくのが効果的だとグノの英語で学びました。 渡辺 士恩さん (筑波大・武蔵)

医学部志望の動機

めて医師にやりがいを感じました。 塾よりも、勉強を楽しめるグノのほうが身につくと思っていました。

渡辺: 祖母が、足を芝刈り機で切ってしまったことがあり、その時に治療してくださった医師のことが祖母の心に強く残ったようで、僕にも繰り返しその話をしてくれます。今は「祖母を助けてくれた医師のようになりたい」と思っています。現場で患者さんに寄り添う道を歩むつもりです。

栗山: 高2の冬に父がコロナに感染してしまいました。かかりつけの医師の方が、父の治療だけでなく、家族のメンタルにも寄り添ってくださる姿に感銘を受けました。「医師になって患者一人ひとりのために働きたい」と思いました。

谷口: 中1の夏に親から、「グノーブルに行ったら」と言われて、夏期講習の英語に参加したことがありました。でも、その頃の自分はまだ塾に通う気にはならず、学校の勉強をきちんとやりたいと思っていました。でも、中3の時に英語の勉強の仕方が完全に分からなくなって、学校

グノーブル入塾のきっかけ

谷口: 小さい頃から医師という職業に興味がありました。高2で将来のことを考えていた時が、ちょうど新型コロナウイルスの感染拡大の時期にあたりました。医師だけでなくいろんな職業についてメディアを通して知ることになりましたが、その中で、「自分は何も特技がないけれど、大人にならなければならぬ」と実感すると同時に、「医学部に入って医師を目指せば、これまで勉強したことも全部つながる」と思って決意しました。

田辺: 僕は小学生の頃から医師を志していました。中学や高校の時、医師に話を聞きに行く経験があり、改めて医師にやりがいを感じました。 塾よりも、勉強を楽しめるグノのほうが身につくと思っていました。

栗山: 中1のスタートダッシュ講座*1から通っていました。英語に関しては父親の強い勧めがきっかけです。数学もグノ以外に他の塾も試してみましたが、やはりグノの数学がとても楽しくて、グノに勝る塾はありませんでした。

田辺: 英語は中1のスタートダッシュ講座からです。僕も同じく、きっかけは父親からの強い勧めでした。マンションのお隣の方*2がグノーブル生で、そのお母さまから「グノーブルはいいわよ」と薦められたのもありました。僕自身も、演習を繰り返すだけの



栗山 壮樹さん (千葉大・海城)

でついていけなくなってしまい、高1からグノに通い始めました。姉の友達でグノに通っている人がいて、ママ友の間で「グノーブルがいい」と評判になっていたのが決め手でした。

数学は高2の夏にいろんな塾の体験授業を受けてみましたが、他の塾は充実感がありませんでした。その一方でグノの映像授業を取ってみたら、すごすぎて「ヤバイ」と思いました。それで数学もグノに通うことにしました。

渡辺: 僕の学校は全然受験対策をやってくれず、「自分でコツコツ進めなさい」というスタンスです。僕は一人でやるのは得意ではないので、「塾の力を借りよう」と思い通い始めたのは中3でした。

一番困っていたのが英語で、英語が伸びる塾であることを第一に考えました。グノは英語に定評があって、合格実績も伸びている最中で、「指導方針が今の時代に合っているのかな」と思って入塾しました。

「数学も学校の先取りをやっていたら後々楽になるのではないかな？」と考えて、数学も一緒に受講することにしました。

学校と塾の両立

渡辺: 週3回部活がありましたが、グノは好きな曜日を選べたので、部活との両立に困ったことはありません。宿題が多くて困ることもありませんでした。

谷口: 他の塾に通っていて塾のことができなくなっている子もいて、私はそうはなりたくありませんでした。生徒の面倒をきちんと見てくれる学校だったので、「学校も塾もどちらもちゃんとできなければ意味がない」と思っていて、「両立ができれば塾をやめる」と親にも言って

いました。結局、最後までグノに通い続けました。授業が好きだったので、「グノをやめてはいけない」という気持ちにもなっていました。

グノで指導してもらえた英語の勉強の仕方は画期的でした。本当に感謝しています。グノに通っていなければ、どんどんダメになっていったと思います。

田辺: グノは授業の質が高いので、授業後に成長を実感できたと、成績も伴っていました。

運動会の時はそっちを優先してしまいましたが、クラス分けテストはきちんと受けたし、運動会の前後はきちんと授業に参加していました。

グノの授業は1回1回の時間が長く、サポートもしっかりしてくれるので、運動会練習後の時間の授業だけでも十分効果がありました。

栗山: グノに通うのが本当に楽しかったです。英語は知的好奇心をくすぐられました。数学も楽しみながら演習できました。英語の先生は話がとても面白かったし、数学は別解をたくさん用意してくださって、いつも楽しみでした。

学校の定期テストの前は振替をよく利用しました。でも、受験直前期は、グノの授業のほうが面白いので、できるだけグノを優先しました。

グノーブルの英語

栗山: 中1から通っているのですが、英語が伸びたというよりも、ずっと上の水準をキープしていました。

でも、高3になってからは、英語に対する意識がずいぶん変わりました。英語を日本語に変換しながら読んでいく必要がなくなり、授業内の演習量が増えたこともあって、おかげで速読の力がつきました。

田辺: 僕の場合は順調ではなくて、



田辺 優太さん (東京医科歯科大・開成)

高1の頃に成績が落ちて、高2は悲惨でした。でも、グノで受けた文法の説明が面白いと思えるようになって身につけ始めたのと、英文を毎日少しずつでも読む習慣がついて、それでまた浮上することができました。

渡辺: 僕は中3から通っていましたが、ただ通っている状態が続いてしまい、クラスも真ん中からちょっと下でした。

高2になって、宿題をする習慣がつき始め、高3になって、先生から「音読！」と言われ続けて、音読を実際にやり始めたら、クラスが2つくらいポンポンと上がりました。

英語に関しては、宿題と音読でしっかり実力が上がるのを身をもって実感しました。

グノの授業は、先生と生徒のやりとりで進みます。だから授業中には当てられて発言することになりますが、僕はそれが好きではありませんでした。でも、当てられるシステムだから、最後まで集中できて、一回一回の授業を実りあるものにできたんだと思います。

谷口: 中3の頃の英語は本当にダメダメで、それで焦って高1でグノに

*1 スタートダッシュ講座：新中1対象の講座（2～3月に開講）。
 *2 馬場 愛奈美さん。13期卒業生。グノレット vol.23 東京大学理系 Part 3にご登場いただきました。



谷口 玲奈さん
(慶應義塾大・豊島岡女子学園)

とはなかったかもしれませんが、解説をしてくださる先生が博識で、機知にも富んでいらっしゃって、知識の幅も奥行きも広がっていくのを実感できる授業でした。

音読の効果

谷口: 私は高1の時から、「音読をやろう」と思ってやる期間と、「もうこんなのダメだ。できない」と思ってやめる期間を繰り返していました。そもそも英語がダメダメすぎて音読できず、声に出して読めないの、「やってもダメだ」と思って諦めていたところがあります。

高3から継続して音読し始めたのは、音読の素晴らしさを先生が毎回授業でおっしゃっていたからです。「これは絶対にやるしかない」と思い、4、5、6月は無理やり続けました。

でも、いったん慣れてしまったら音読が嫌ではなくなり、むしろ英語がスラスラ読めるのが楽しくなって、「音読は本当に大切な」と実感しました。

渡辺: 音読の効果は絶大です。

以前は、英文を一文読むのに、きちんと構造を考えて、意味を日本語で考えながら読んでいました。でも、音読を始めてしばらくしたら、英語のまま流れるように読めるようになりました。日本語ほどスラスラ読めるようになったわけではありませんが、以前との差は格段です。

音読には、GSL^{*1}のついているサミングアップ^{*2}の英文を使っていますから内容は分かっています。音読では後ろに返って読めないの、前からザーッと意味を取っていくことになって、自然と速く読む力がつきました。

田辺: 高2までは音読は全然やって

いなくて、リスニングも壊滅的でした。高3で音読を始めたら、リスニングがとてもしびて、共通テストでもリスニングは満点でした。

サミングアップの音読では、リーディング力も、リスニング力もどちらも育成できるのを実感していました。

栗山: GSLだと目と耳と口のすべてが英語になじむし、英文を英語のまま理解することになるので、表面的な理解ではなく、英語の感覚というものが自分の中に育っていく感じがありました。

英語の語順のまま読めるようになると、英語独特のリズムも体の中に入ってきて、目に見えないところで英語の力が使われて、速読を助けてくれる感じがしました。

ただ英文を日本語に直しながら解釈したり、ただ英語を聞いたりするだけだと、英語は身につかないと思います。

英語圏で暮らせば周りからいろいろな刺激を浴びることになるでしょうが、日本にいらながらも最大限のことができるという意味で、GSLを使ったグノの音読は、学習法としても優れていると思います。

英単語の学習

栗山: 英語の速読力が養われたのには、知らない単語の推測力が grew したのも大きいです。

英単語の意味を直感的に推測できるようになったのは、英語の流れのまま解釈できるから文脈をしっかり踏まえられるようになったのと、グノで教わった語源の知識が身についたからだと思います。

渡辺: グノでは、英単語の意味は、接頭辞や接尾辞、語幹などに分割して説明してもらえます。英単語がアルファベットの羅列ではなくて、単

語ごとに表情を持ったものに見えるようになりました。

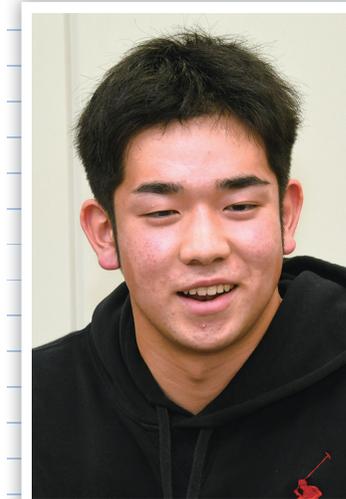
加えて、例文や英英辞典の定義が板書されたり、絵が描かれたり、先生がその動作を体を使ってやって見せてくれることもありました。ネイティブの人がどんな概念やイメージをその単語に持っているかに触れていく授業を通して、「英単語と日本語を一对一で覚えるのは、これから膨大な量の英文を読んでいく上で意味を成さない」と実感しました。

これは英語に限った話ではなく、どの言語に触れていく上でも大切なことです。

グノーブルの先生は「英単語の意味は単語帳や辞書が決めるものではなくて文脈が決めるものだ」とおっしゃっていましたが、そのとおりだと思います。すべての言語の学習において、さまざまな文献に触れてその中でどのように使われているのかを確認していくのが効果的だとグノの英語で学びました。

グノーブルの数学

栗山: 中学生の時は、本当に興味を



渡辺 士恩さん (筑波大・武蔵)

そその内容で「数学は楽しいんだよ」と教えていただき、数学が大好きになりました。

高校生になってからは受験を意識した授業で、「どう考えればいいのか?」を徹底的に教えていただきました。「ひらめきや突拍子もないアイデアなどに頼るのではなく、しっかり順序立てて、論理的にこういう条件だからこういう解き方をする」という方針が立てられるようになったので、初見の問題に対しても妥当なアプローチができるようになりました。

渡辺: 学校の先取り勉強ができて、演習量も増えるのが塾に通うメリットだと考えていました。実際、中3からグノに通ってただけで受験ではアドバンテージになりました。

グノではたくさん演習ができました。レベルも質も高いものばかりでした。解いたあとに、先生が一人ひとりに講評を述べてくださるのですが、正解していると、授業に対するモチベーションが上がりました。

先生は演習中から僕たちのことを見ているので、緊張感があり、安心感もありました。

谷口: 私がグノの数学を取ったのは高2の夏からでしたが、初めは、先生が生徒の様子を見て回って「ここは合っている」とか「ここはこうするといい」とおっしゃっているのを聞いて、周りがすごすぎて圧倒されるばかりでした。

それでも、毎回の解説から、「数学はセンスがなくても、頭の使い方の上達できる」と考えられるようになりました。

私は、先生の手書きプリントを熟読していました。それに則って解けば、それなりのレベルに近づけると実感できたし、それで伸びた部分がたくさんありました。

渡辺: セルフチェックシート^{*}がある



栗山 壮樹さん (千葉大・海城)

ことで、宿題でどこが分からなかったかを具体的に頭に入れた上で授業に臨みました。

「どこが分からなかったか?」を明確にしないまま授業に来て、授業で得られることは少ないと思います。

「この計算式が分からなかった」とか「この考え方をうまく活かせなかった」とかを書いてから臨むことで、授業を受ける姿勢が大きく変わります。僕にとってはセルフチェックシートは授業に集中するためのツールでした。

谷口: セルフチェックシートが大好きでした。初めは時間がかかるから「めんどくさい」と思っていたのですが、あれを書くことで問題に向かう時、他人事にならず、細かな点まで自分の頭でしっかり考えられるようになりました。

化学や物理でもセルフチェックシートのようなものを書くようになりました。独り言みたいに書くのですが、気づけることや印象に残ることが多くてありがたかったです。

栗山: セルフチェックシートは間違えても正解しても書きます。

間違えた問題に関しては、「どうして間違えたんだろう?」と考えるので、解説をしっかり理解できますし、頭にも残りやすかったです。

*1 Gno-let Sound Laboratory: 中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

*2 SUMMING-UP LABORATORY: 高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

*セルフチェックシート: 高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

合っていた問題に関しても、「どういう考え方をしたか？」を言語化することになって、その解法が一般化されて頭の中に入っていき感覚があります。一般化された考え方が頭に入っていると、他のいろんな問題に応用できます。

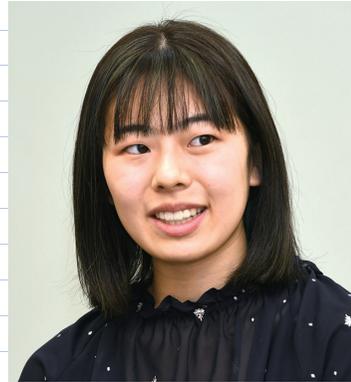
みやすいと思えました。

グノーブルの化学

渡辺：グノの化学も、ただ単語や公式を覚えるのではなく、「どういう考え方をするのか？」を教えてください。授業でした。

授業中に先生から聞かれることも、「この単語を知っている？」ではなく、「なぜこういう現象が起きるのか？」というようなことでした。

暗記科目としての化学ではなく、化学的な視点と考え方が身につく授業だったので、授業中の先生とのやりとりが、大学受験で出る論述問題に活かせるものでした。



谷口 玲奈さん
(慶應義塾大・豊島岡女子学園)

人として魅力のある先生たちでした。

渡辺：模試の結果に執着する先生がいらっしやらないのが意外でした。

模試の結果を見せにいても、先生方は「課題が分かれば、その結果に喜んだり落ち込んだりする必要はない」というスタンスでした。

グノーブルの先生

谷口：どの先生も名前を覚えてくださったり、当ててくださったりして、集団授業だからといって一方的なところがありません。

私は先生との距離が近すぎるのも苦手なのですが、グノの先生は遠い存在ではないけれど、毎回グイグイ迫って来るわけでもありません。いつも程よい距離感で、自分から先生のところに行くのは簡単でした。必要な時に質問しやすい雰囲気があったてありがたかったです。

田辺：いろんな先生がいて個性豊かでしたし、「興味深い」という意味でも「おかしい」という意味でも、全員面白い方々でした。笑える授業も、知識の深さと豊かさ感動できる授業もありました。

それから、どの先生も生徒思いでした。ですから、相談にもいきやすかったですし、相談にいけば、先生と話しているうちに前向きな気持ちになれました。

栗山：十人十色の様々な個性の先生方がいらっしやると思っていました。

グノーブルの環境

田辺：グノの教室には適度に引き締まった緊張感が授業前にも、授業中にもありました。先生たちも熱心だし、周りも一生懸命やっているので集中できました。

谷口：授業中の空気感もそうですが、授業が始まる前もみんな座っていて、周りの人を「すごい」と感じるのが心地良かったです。授業開始前から「ちゃんとやろう」と思える環境は魅力でした。

渡辺：大人数が入って行われる授業が好きでなかったのですが、それとは対照的なグノの授業はリラックスして落ち着いて集中できました。

後輩へのアドバイス

渡辺：グノの授業はいろいろな大学のカリキュラムに対応できるように組まれています。そのため、「医学部だから特別なことをしなければいけ

ない」という不安や心配はいりません。グノの授業にしっかりついていけるようにすれば医学部も大丈夫です。

谷口：周りの人たちの多くは大学別の直前講習などに通っていましたが、でも、私はそういうのに通わなくて、グノできちんとやっていたら、いろんな問題に対応できて合格しました。

実は、国立の受験校を医科歯科大に決めたのは共通テストが終わってからです。しかも、私立の医学部の受験が終わってから国立の受験まで一週間くらいしかない中で初めて、受ける大学の過去問をやるという状況でした。

特に医科歯科の英語の出題は独特で、問題を解いてみるまでは不安しかなかったのですが、やってみたらちゃんと対応できて合格をいただきました。

グノで英語の授業を受けてきちんと復習をしていれば、どの大学の医学部を受験しても大丈夫です。

田辺：高3初めのクラス分けテストでやらかしてしまい、 $a4^*$ の点数でした。それでもグノの勉強を真面目に続けて医学部に合格できました。そんな僕から伝えたいのは、諦めないで英語に向き合ってほしいということです。

グノでは授業内演習で、医学関連の英文もたくさん扱ってくれます。医学部に特化した単語帳を使う必要がありません。焦らずに、気負わずに普通にきちんとグノの勉強をすることが大切です。

栗山：グノの英語に通っていると不安になることがあるかもしれません。例えば「単語帳を買わなくていいのか？」とか「早くから過去問をやらなくていいのか？」とか考えることもあると思います。

でも、医学部志望の人は英語や数学などで底力をつけていくのが大切です。そして、グノは底力をつけて



渡辺 士恩さん (筑波大・武蔵)

くれる塾なので安心して大丈夫です。

英語の場合、音読やGSLを信じて続ければ、単語帳も使わなく済みます。グノを信じて勉強してください。



田辺 優太さん (東京医科歯科大・開成)

*グノーブルの物理は v (ニュー) と a (アルファ) に分けられている。 v (ニュー) クラスでは厳選された入試問題を掘り下げながら物理法則の理解を深めていく。 a (アルファ) クラスでは歴史的な物理実験や科学者のたどった推論を元にしたオリジナルの教材を使い、科学者たちの研究を追体験しながら理解を深めていく。

*この学年の高3時の英語は、 a (最上位) から、 $a1$ 、 $a2$ 、 $a3$ 、 $a4$ 、 $a5$ の設定。

国立大学 医学部

Part 2

青木 杏奈さん
(東北大 [AO 入試Ⅱ期]・白百合学園)

宮崎 克洋さん (東北大・開成)

グノに全幅の信頼を置いて本当に大丈夫です。

英語は先生に言われたとおりにきちんと音読して、数学は与えられた課題にきちんと取り組んで復習してください。そうすれば必ずできるようになります。成果が出るまでには数か月かかることもありますが、絶対にできるようになります。

青木 杏奈さん (東北大 [AO 入試Ⅱ期]・白百合学園)

医学部志望の動機

宮崎：中学3年の時に腕を骨折して手術を受けました。この時、痛みがきれいに取れた医師の処置に感銘を受け、「大学で本格的に医学を学びたい」と思いました。

私は全身麻酔を2回受け、2回とも吐き気に悩まされました。母にも全身麻酔の経験がありますが、全く吐き気は起こらなかったようです。同じ麻酔だったのに、人によって差が出ることに興味を持ちました。

青木：私は中学の調べ学習で再生医療に興味を持ったのがきっかけです。「自分もこういう研究をしてみたい」「現在は治せない病気を治す方法を見つけたい」と思いました。

今のところ研究に興味がありますが、将来は臨床に行きたくなくなるかもしれません。

グノーブル入塾のきっかけ

青木：私は中学入学前のスタートダッシュ講座*1から通い始めまし



青木 杏奈さん
(東北大 [AO 入試Ⅱ期]・白百合学園)

た。母親に勧められて参加して、授業の雰囲気やスタイルが気に入ったのでそのまま通い続けました。

私は小学校から女子校ですが、学校にはわいわいする雰囲気がありませんでした。一方、スタートダッシュ講座ではとても盛り上がり、「楽しいな」と思いました。

宮崎：高1の9月に英語で入塾しま

した。青木さんと同じく両親の勧めがきっかけです。

実は高校に上がる前にフレッシュャーズ講座*2を受けました。フレッシュャーズ講座は少人数で、先生がバンバン当ててくれたのが気に入って、入塾を決意しました。ただ、9月までは運動会で忙しく、腕の骨折もあったので、「通うなら秋から」と思っていました。

他塾の講習も受けたことがありますが、グノは授業が始まるとすぐに夢中になれるし、解説が丁寧で明快でした。授業後の達成感が違いました。

グノーブルに通う時の気持ち

宮崎：「今日も集中して頑張ろう」と気を引き締めて通っていました。

高3の運動会の時は大変でしたが、グノは休みたくなかったので、遅刻しても通っていました。振替制度は本当に助かりましたし、コロナ禍で出席できない人のための映像授業も活用していました。

青木：6年間続けて、グノにはいつも楽しく通っていました。

中学生の頃は、初めての単元を学べる楽しさや、できなかったことができるようになるのもうれしくて、毎回楽しみでした。

高校生の頃は、毎週先生が用意してくださる英文にバリエーションがあって、「今週はどんな文章を読むのかな？」とワクワクしながら通っていました。

学校でのグノーブルの話題

宮崎：あの問題が難しかったとか、グノのクラス分けテストのことはよく話題にしていました。

青木：私の学校にはグノ生が多く、グノ生同士が廊下で集まって盛り上がるのが多かったです。

高3の時は、サミングアップ*1が話題の中心で、「今週のは難しかったよね」と話したり、点数が悪かったら慰め合ったりしていました。

グノーブルの英語

宮崎：グノに通って英語は本当に伸ばせました。その理由はグノの音読だと思っています。

音読を習慣化できたことで、まず、英語の語順のまま前から解釈できるようになりました。読むのが格段に速くなりました。

音読といっても、グノで勧められるのはただの棒読みではありません。授業の解説でしっかり理解できている英文を、自分がスピーチするように意識しながら読むのが大切だとされていて、GSL*2も使いながら頑張っていました。

音読は口に出す作業が増える分、黙読よりも頭を使うので、これも良かったと思います。結果として、速読できる上に内容を精読できるよう

になって、力がついたので実感しました。

高3になると、グノの場合、毎週英作文の添削をしてもらえるので、このおかげで英作文の力もグッと伸びました。全国模試の第1回でライティングがボロボロだったのに、第2回ではスペルミスの減点くらいで済みました。将来論文を書く際にも有利になると思っています。

青木：私の場合、中1からずっとグノで習っていたので、急に伸びたという時期はありませんが、いつの間にか英語が得意科目になっていました。

私も、速く正確に読めるようになったのは音読の習慣化のおかげだと思っています。

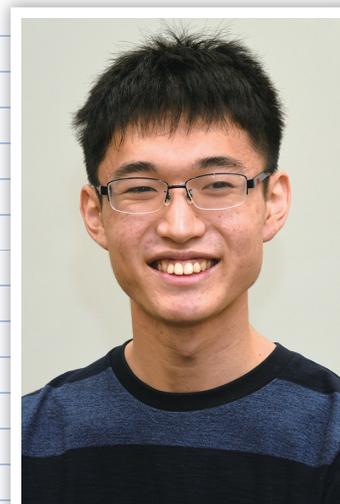
それから、英単語のイメージを大切にするという覚え方も良かったです。グノでは、単語の語源や日本語との違いも解説してもらえるので、英語を生き生きと読めるようになりました。

高1から受け始めた全国模試でも結果が出ていましたし、それから、高2で英検準1級を受けた時、対策する時間がなくてぶっつけ本番でしたが、問題なく受かりました。

今は大学の課題で、英語で書かれている生物の教科書を読んでいます。グノで習った接頭辞や接尾辞、語幹の知識がすごく役立っています。未知の単語でも推測しながら読めるので助かります。

単語帳は学校で配られて定期試験に出るので、「やらざるを得ない」と思ってバラバラと見ましたが、グノで身につけたことの確認をする程度でした。ですから、単語帳は今でもきれいなままです(笑)。

他塾に行っている人たちが分厚い単語帳を必死でずっと見ているので、「私は大丈夫かな?」と思ったこともありました。でも、グノできちん



宮崎 克洋さん (東北大・開成)

と授業を受けて復習していたら、そういう子たちに後れを取っている感じにはなりません。

語彙力を上げるというと、多くの単語を覚えれば良いと思いがちですが、語源を意識していくことが大切なのだと思います。単語の成り立ちが分かっていると、英語としてのイメージもつかみやすくなるし、いろんな単語がつながっているのを見えてきます。

宮崎：高1までは単語帳を使った勉強をしていましたが、単語帳は覚えても片っ端から忘れるし、グノでの勉強で効果が上がると実感できたので、高2からは使わなくなりました。学校から配られた単語帳の単語が定期試験に出るので、バラバラと見るくらいはしましたけど。

受験した東北大の英語は、「単語帳の暗記では太刀打ちできない」と青本に書かれていますが、グノで教わるような語源や文脈からの類推力が大切なのだと思います。大学側は、誰も知らない単語の知識を聞いているわけではないと思います。

青木：グノでの勉強は、受験英語を超えて役立つのを今実感していると

*1 スタートダッシュ講座：新中1対象の講座(2~3月に開講)。
*2 フレッシュャーズ講座：新高1対象の春期講習。

*1 SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的レベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。
*2 Gno-let Sound Laboratory：中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

ころです。
私はAO入試だったので、今は、大学の入学前研修で多文化や他民族について学んでいます。アフリカの大学の先生が授業をしてくださるのですが、グノで読んだ文章と重なる内容があって、「これはグノでやったことだ」と知識がつながっていきます。

海外の文化は学校の普通の授業を聞いているだけだと分かりません。でも、グノでいろんな種類の文章を読んでいたおかげで、そういう海外の話聞いた時もすんなりと理解できます。

宮崎：グノで扱った英文はいろいろなジャンルにわたっていたので、いつも「今日はどんな話題だろう」と、授業を受けるのが楽しみでしたが、それだけでなく文章に関連した雑談も大好きでした。

先生たちは、英文の背景の話も生き生きと話してくださるので、それでクラスみんながクスッと笑ったり、「おお」と思ったりできて、緊張感のある中でも楽しめる授業でした。

グノーブルの数学

宮崎：セルフチェックシート*1が特徴的でした。

学校の宿題で数学の問題を解くと、できたかできなかったかで○×をつけて終わってしまいます。

一方、グノのセルフチェックシートだと、「ここまでできて、ここで計算ミスをしてしまった」というように振り返ることができます。「自分がどういう計算ミスをしやすいか?」といったミスの知識を集積できて、それを次に活かします。

自分の思考を客観視できることの大切さが実感できたので、同じことを化学や物理でもやっていました。物理の先生からも、問題を解いたあ

と、それを自分で説明できるかどうかをチェックするようと言われていました。グノでは数学でも物理でも同じ指導方針なのだと思います。

青木：グノの数学で一番印象に残っているのは先生の手書きプリントです。先生のプリントは全部手書きだったので、先生の頭の中がプリントに書かれているんだと強く思えました。

高3の夏まで模試の数学の偏差値がひどくて、「数学を諦めなくては」と思ったほどでした。でも、「これまでのプリントをもう一回全部やってみよう」と決意してやり直したことで変わりました。

やり直すにあたっては、自分なりにフローチャートを作って、「こういう問題に対してはこういう武器」と作戦を練っていきました。そのうちに、自分が突破しなければならぬ関門が具体的に見えてきて、戦略的な思考が鍛えられました。

セルフチェックシートには、先生がアドバイスをたくさん書いてくださいました。シートが真っ赤になるくらい、私が自分では気づけないことを指摘してくださったし、アドバイスは次に活かせるものばかりでした。

グノの数学はクラスの数が多いので、全体に向けての解説と一人ひとりへの解説の両方が発信されて、とても充実していました。

グノは数学もとても良いので、いろんな人におすすめしたいです。
宮崎：本当にそのとおりで、グノの数学はおすすめです。

先生がクラスごとに全員分のセルフチェックシートを確認して、宿題の出来状況や、後期のテスト演習の答案の出来状況を見たと、解説を変えてくださいます。例えば、みんなができていたところはさっと解説して、みんなができていないところ



青木 杏奈さん
(東北大 [AO入試Ⅱ期]・白百合学園)

は丁寧な解説するなど、臨機応変に対応してくださいました。

私も手書きプリントの解説には助けられました。パソコンで打った文字とは違う趣がありましたし、何よりも分かりやすかったです。見た目の印象から、パソコンで作られた解説の5倍くらい分かりやすさが違います。

青木：手書きだと、先生が強調したいところも分かりやすいです。例えば、繰り返されているところがあると、「先生はここを強調したかったんだ」と伝わってきます。

グノーブルの物理

宮崎：本当に物理は苦手でしたが、v(ニュー)クラス*2で受講して、物理の力を根本から伸ばしてもらえました。

先生は一人ひとりの苦手なところを把握してくださって、問題を解説する時には、その分野を苦手にして生徒が根本から理解できるように工夫してくださいました。苦手問題の時にはよく当てられました。そういう授業だったからこそ、土台がしっかり整いました。

授業の題材では入試問題が網羅されていたし、もちろん解説も充実していたので、応用力もつきました。

たまに、α(アルファ)クラス同様に物理の歴史を絡めて説明してくださいましたし、追加の申し込みをすることもあって楽しめましたし、とっつきやすかったです。

グノーブルの先生

宮崎：メールでも質問や相談ができたし、授業後に質問しにいても、嫌な顔ひとつせずこちらが分かるまで教えてくださいました。先生ばかりでした。受験では「この先生についていけば大丈夫だ」という人がいるのではないのと全然違います。そういう意味ではグノの先生は全員信頼できました。安心して受験できたのは先生たちのおかげです。

苦手分野でひどい答案を提出したとしても、先生がいつも「粘り強く」とコメントを書いてくださって、それが本当に励みになりました。

過去問の添削も丁寧で、受験にも安心感を持って臨めました。

青木：私は6年間通ったのでいろんな先生に出会いました。どの先生も個性があって、それぞれのスタイルをお持ちでしたが、アットホームで生徒思いのところは共通でした。いつも、「一人ではない」という気持ちにしていただけました。

特に中学の数学でお世話になった先生は、「今日はどうだった?」とか「学校はどう?」などと話しかけてくださったのがうれしかったです。

数学は決して得意ではありませんでしたが、中学からずっと好きだと思えたのはグノの先生たちのおかげだったのだと思います。

グノーブルの受付

宮崎：受付に入るといつでも温かい雰囲気でした。気持ちよく挨拶してもらえると、「今日頑張るぞ」という気持ちになれます。

講習のたびに受講クラスを変更していましたが、追加の申し込みをする時にも、いつも気持ちよく対応していただけて、感謝しかありません。

青木：私も事務の方が親切だったのが印象的でした。授業後に雨が降っていて傘を借りに受付にいった時も本当に快く貸してくださいました。皆さん本当に親切でした。

後輩へのアドバイス

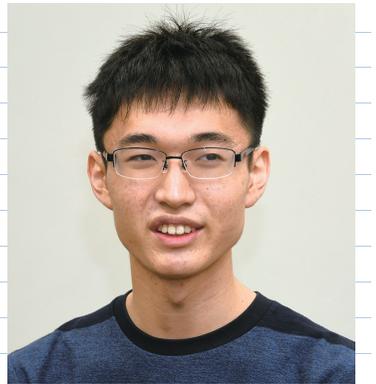
青木：グノに全幅の信頼を置いて本当に大丈夫です。

英語は先生に言われたとおりにきちんと音読して、数学は与えられた課題にきちんと取り組んで復習してください。そうすれば必ずできるようになります。

逆に、ちょっとでもサボると周りと差がついてしまいます。きちんと言われたことをしていれば、成果が出るまでには数か月かかることもありますが、絶対にできるようになります。

宮崎：分からないことを分かるようになるまで先生に質問しまくってください。勉強の質問だけでなく、不安なことでも何でも相談すれば、先生方が励ましてくださいます。

生徒一人ひとりを先生が見てくださるのはグノだからこそです。それを徹底的に活用しましょう。



宮崎 克洋さん(東北大・開成)

*1 セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。担当講師が目を通しコメントをつけて返却しています。

P42 *2 グノーブルの物理はv(ニュー)とα(アルファ)に分けられている。v(ニュー)クラスでは厳選された入試問題を振り分けながら物理法則の理解を深めていく。α(アルファ)クラスでは歴史的な物理実験や科学者のたどった推論を元にしたオリジナルの教材を使い、科学者たちの研究を追体験しながら理解を深めていく。

16期生 合格者の声

Digest

■英語だけでなく全教科のグノ、が正しいです！グノが大好き♡ (一橋(商) / 晃華学園)

■学園祭や部活で忙しくても柔軟に日程変更ができ、充実した学校生活と塾通学を両立できました！ (九州大(工) / 芝)

■数学の楽しさを知れた！数学“も”面白い先生がたくさんいます。 (北海道大(歯) / 芝)

■大嫌いだっただ英語をGnobleのおかげで得点源にすることができました。 (東北大(法) / 筑附)

■授業を含めた先生との“対話”からたくさんの感動と発見があります！ (京都大(経) / 浅野)

■先生と生徒の距離が「密です！」な塾。 (慶應(経済) / 浅野)

■大量の課題をただ出すのではなく、質の高い課題を適切な量与えていただきました。 (お茶の水女子(文) / 桜蔭)

■楽しく勉強するならGnoble一択です！ (慶應(理) / 白百合)

■毎回授業に行くのが楽しみでした！ (北里(医) / 白百合)

■グローバルな教養を授業のたびに身につけられた。 (東大(文I) / 駒東)

■授業を受けて努力すれば必ず効果が上がる塾！迷ったら行こう。全力で努力しよう。 (東大(理II) / 芝)

■親身になってくれる先生が多くてとにかく居心地が良かった。 (早稲田(政経) / 暁星)

■「英語への興味」や「英語が好き心」を失うことなく伸ばしてくれた。 (上智(国際教養) / 学習院女子)

■ただただ楽しく勉強に取り組むことができました。 (早稲田(文) / フェリス女学院)

■必ず成長を実感させてくれる塾！ (慶應(経) / 城北)

■受験のための小手先の技術ではなく、深い思考力が鍛えられる。 (東工大(工) / 渋渋)

■全体的に演習中心で、ずっと集中して授業に取り組めた。 (千葉大(医) / 海城)

■先生との距離が近い、安心感のある塾。 (東京慈恵会医科大(医) / 東洋英和)

■合格に最短経路でたどり着ける塾！ (東大(理I) / 麻布)

■やる気があり受け身でない生徒が多く、刺激になりました。 (東大(文III) / 豊島岡女子)

■英語を武器にしたい人にオススメな塾！英語が得意でも苦手でも大丈夫！ (信州大(医) / 巣鴨)

■生き生きと英語を読む楽しさを教えてくれた。 (東京医科歯科(歯) / 筑附)

■Gnobleは頻りに先生が生徒に問いかけながら授業を進めていく双方向の授業。 (国際教養(国際教養) / 吉祥女子)

■洗練されたプロの講師陣による、分かりやすく親しみを持つ指導を受けられる塾。 (大阪(医) / 駒東)

■どの先生も教養に溢れていて、授業が本当に有意義！ (上智(外) / 田園調布双葉)

■楽しくない英語の勉強は嫌いだけど、ちゃんと受験で通用する実力も伸ばしたい人のための塾。 (東大(理I) / 筑附)

■先生のことを信頼して努力すれば、自分が感じる以上に確実に実力を伸ばせる塾。 (東大(理II) / 女子学院)

■教科を問わず素敵な先生がたくさんいらっしゃって、英語で有名だけど数学も素晴らしいですよ。 (東大(理III) / 桜蔭)

■僕はGnobleに全教科でお世話になっていましたし、とにかくGnobleの先生方のおっしゃる通りに勉強していました。ちょっと大げさかもしれませんが、Gnobleに背中を預ければ合格できると思います。 (東大(理II) / 筑駒)

■高校生のうちだけでなく、将来にも役立つことのできる知力が得られる塾。 (東大(理I) / 駒東)

■とても楽しくて、先生の熱量も強く、あっという間に授業が終わってしまうほど集中して勉強できる、最高の大学受験塾です。 (東大(文I) / 駒東)

■面倒見が良く、先生がやる気と実力を引き出してくれる塾。 (東大(文I) / 駒東)

■英語に対する見方を根本から変えてくれる塾。 (一橋大(法) / 豊島岡女子)

■帰国子女の私でも、たくさん刺激を受けさせていただけるようなハイレベルな英語の授業でした。 (慶應(法) / 白百合)

■「先生方と生徒の距離の近さ」と「周りの生徒の熱量や知識量からの刺激」という、個別塾と集団塾の両方の良さを持ち合わせた塾だと思います。 (慶應(法) / 東洋英和)

■生徒一人一人に熱く向き合って下さる塾。必ず行って良かったと思える塾。 (東大(文II) / 桜蔭)

■どんな大学にも通用する英語力が身に付く塾。英語が有名ですが国語も最高です！日本の全高校生にオススメしたい！ (慶應(法) / 女子学院)

■先生とコミュニケーションを取りながら授業が進んでいくので、積極的に授業に参加出来ました。 (上智(法) / 鷗友)

■受験対策として有効な塾であるのはもちろんのこと、受験にとどまらずその先の段階まで見据えた本質的な学習方法を教えてくれる塾だった。 (京都大(工) / 駒東)

■入塾してすぐに、先生方が私の名前を覚えてくださったことはとても印象的です。1クラスあたりの人数も比較的小さいので、授業中に気軽に質問をすることができるのも、Gnobleの良いところだと思います。 (慶應(文) / 明治大学付属明治)

■大学受験を通して知的教養を身に付けられる塾。 (東大(理I) / 麻布)

■どの先生も自分のことをしっかりと見ているということが実感出来ます。何よりも嬉しく役に立ったのは、メールや授業後に一対一で納得いくまで質問出来たことです。 (京都大(経) / 広尾学園)

■使う教材が良いすぎる。教材の量はあまり多くないのに、大事なことがぎゅっと凝縮されていてそれさえあれば、成績も上がるし、自信もつく。 (上智(外) / 田園調布双葉)

■きわめて熱量の高い、きわめて熟達した先生の下で、深く勉強して自分の世界や視野を拓げ、実力もつけてくれる塾。 (東大(理II) / 両国)

■日本一の塾。 (東大(文III) / 光塩女子)

■グノ!!しか!!勝たん!! (東大(文I) / 晃華学園)

■英語が得意教科!と言えるくらいにまで自分の英語力を楽しく伸ばしてくれた! (早稲田(政経) / 渋渋)

■努力が実る塾! Gnobleでの勉強は大変だったけど、模試や入試でその成果がはっきりと出て嬉しかったです。 (早稲田(文) / 吉祥女子)

■期待以上のものが毎週かえって来る塾。 (早稲田(理) / 海城)

■塾嫌いでも好きになれる塾! (一橋(法) / 豊島岡女子学園)

■フレンドリーな塾。スパルタではないのに、成績が上がる塾。 (東大(文I) / 白百合)

■とにかく楽しい塾だと伝えたいです!先生との距離が近く、周りにも高い目標を持った仲間がたくさんいる環境での学習は、単なる受験勉強にとどまらない、大学での学習や実社会でも使える生きた英語力を身につけることができる最高の機会です!ぜひ一度授業を受けてみてください! (東大(文I) / 筑附)

■Gnobleは、生徒に大量の宿題を課して強制的に勉強をやらせるのではなく、生徒たちを主体的な勉強へと導き、勉強の本質、主体的な勉強の大切さを教えてくれる塾だと思います。単なる大学受験のための勉強ではなく、受験の後の人生も見据えた勉強をさせてくれた塾です。 (早稲田(理) / 雙葉)

■授業後に教室ですぐに先生に質問することができ、先生との距離が近い塾です。 (慶應(経) / 山脇学園)

■英語が好きになる塾。英語が得意な人がさらに伸ばすことのできる塾。 (慶應(法) / 三田国際)

■どの授業も楽しく、通うのが嫌にならない塾でした。自分がそうですが、どの教科も受験勉強のスタートが遅れている人がなんとかするのにとてもいい塾だと思います。 (東大(文II) / 開成)

■どの先生もキャラが立っていて、生徒思いで温かさのある授業でした。問題と本質的に向き合う頭が鍛えられました。 (慶應(法) / 雙葉)

■グノーブルが授業で取り扱う英文は英語の勉強として役立つだけでなく、深く読み込むことで教養として身につけられるものばかりで授業のたびにハッとさせられました。先生たちの知識量がとても豊富で深く、授業中にいつも感動していました。 (慶應(文) / 普通工字園)

■毎週扱う英文や文法、作文の教材量がとても豊富で、授業を受け復習をするだけで知らぬ間に英語力がついていました。ここまでの量の教材を十分に扱いきれるのはGnobleならではだと思います。 (京都大(理) / 駒東)

■少人数で、いい意味で緊張感をもって集中して授業に臨めました。 (東大(文II) / 桜蔭)

■教養を英語とともに学べる塾!特に東大英語の対策をしたい方には強くお勧めできる塾だなと感じました。 (東大(理II) / 洗足学園)

■特に何をしたいというわけではありませんが、グノーブルの授業を受け続けていたら英語が得意になり、心の支えになりました。読む文章が面白かったです。 (東大(理I) / 筑附)

■毎回の添削演習で、自分の足りないところが明確になる上、解説も幅広い背景知識を用いたものなので、本当に得るものの多い授業でした。先生との距離も近く、質問がしやすかったことも良かったです。 (東大(理II) / 駒東)



Gnoble GROUP

知の力を活かせる人に

私たちは、生徒の皆さん一人ひとりと誠実に向き合います。
皆さんが、将来にわたって活躍できる土台となる、
有機的知識・思考力・判断力・コミュニケーション能力・心の強さを
身につけていくことを常に念頭に置いた指導をお約束します。
何より、皆さんの意欲や好奇心といった心の中の火を
無味乾燥な受験勉強で消してしまわない、
活き活きとした環境を提供していきます。

大学受験



Gnoble

大学受験 グノブル

難関大学・医学部を目指す中1生～大学受験生

本物の知的体力がますます求められています。
その知の力を伸ばすのに最も大切な要件は、
前向きになれる、知的刺激にあふれた環境で学
ぶことです。授業形式、教材、そして、教職員の
接し方に至るまで、皆さんが意欲的になれる環
境を整備し、難関大学・学部を目指す皆さんを
しっかりサポートしていきます。

中学受験



Gnoble

中学受験 グノブル

難関中学を目指す小学生

最新の入試傾向に対応したカリキュラム、精選さ
れたオリジナルテキストを基に、経験豊かな講師
陣が一人ひとりに向き合った双方向の授業を展開
し、難関中を目指す子どもたちを導いていきます。
学習したい教科や志望校別のクラスが選択でき
るなど、中学受験に関するさまざまなご要望にお
応えしていきます。

個別指導



GnoLink

個別指導 グノリンク

難関校を目指す小学生～大学受験生

生徒一人ひとりに心を配り、その子の持つ可能性
を追求します。学習状況に合わせて、講師1名に
生徒2名、あるいは生徒1名の完全個人指導体制
を提供します。中学受験・大学受験グノブルと
並行して通うことも可能です。グノブルオリジナ
ルテキスト等も併用しながら、個別に対応します。

英会話



GnoKids

英会話 グノキッズ

0歳児～小学生

さまざまな楽しい英語体験を通して、聞く、話す、
読む、書くの4つの力を伸ばします。先生2名に生
徒は8名程のクラスで、ネイティブの英語に触れ、
親しむことができます。ご家庭での学習も配慮し
た教材で、継続的な学習を無理なく行うことがで
きます。

Gnoble グループ 各校舎所在地



Gnoble GROUP

大学受験 **グノブル**
個別指導 **グノリンク**

中学受験 **グノブル**
英会話 **グノキッズ**

グノブル総合案内

www.gnoble.com